
run for money **逃走中 団体戦**

疾風の音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

run for money 逃走中 団体戦

【Nコード】

N3033R

【作者名】

疾風の音

【あらすじ】

4人1組、7チーム、合計28人による、逃走中団体戦！

120分間逃げ切れれば144万円（1人36万円）を獲得できる。

逃げ切るのは何処のチームか！

逃走者紹介（前書き）

逃走中 ティルズオブが更新されることが多いですが、此方も後々更新します！

逃走者紹介

メンバー紹介（時間120分 1秒毎200円上昇 逃走成功額1
44万円 団体戦4人1組 7チーム サドンデスあり）

スマブラ内のマリオファミリー

マリオ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

ルイージ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

ワリオ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

クツパ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

マリオのワンマンチームになる可能性があるチーム。
しかしクツパが意外な所で活躍する可能性大か。

戦国BASARA

伊達政宗

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

真田幸村

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

片倉小十郎

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

猿飛佐助

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

全体面で安定感があるチーム

唯一の不安は運の悪さか

魔法少女リリカルなのはStrikers

高町なのは

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

フエイト・T・ハラオウン

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

八神はやて

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

スバル・ナカジマ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

積極的にミッションを行うチーム。

ただ女性チームなので体力面に難ありか。

らきすた

泉こなた

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

柊かがみ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

柊つかさ

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面

運良さ

高良みゆき

積極率

行動力

素早さ

体力面

知力面
運良さ

チームワークがあり、安定感のあるチーム
しかし、高良みゆき頼りになれば苦しいか

東方Project

博麗霊夢

積極率
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

霧雨魔理沙

積極率
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

アリス・マーガトロイド

積極率
行動力
素早さ
体力面

知力面
運良さ

風見幽香

積極率
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

長所が短所を補っているチーム
ただし1人捕まれば脆くなるのが弱点か

B L E A C H

黒崎一護

積極率
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

朽木ルキア

積極率
行動力
素早さ
体力面

知力面
運良さ

井上織姫
積極率
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

石田雨竜
積極率
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

高校生メンバー2組目（死神付き）
一護と雨竜が全く反りが合わないのが難点か

F a t e / s t a y n i g h t

セイバー
積極的
行動力
素早さ
体力面

知力面
運良さ

アーチャー

積極的
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

ランサー

積極的
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

ギルガメッシュ

積極的
行動力
素早さ
体力面
知力面
運良さ

逃走者達の中で最もステータスが高いチーム
ただチームワークが余りにも低いのが難点か。

以上 7チーム28名の逃走劇が始まる・・・。
優勝するのは何処のチームか！

オープニングゲーム part1 (前書き)

オープニングゲーム前編です！

オープニングゲーム part 1

とある遊園地に集められた、28人の逃走者達……。

マリオ「ここは何処なんだ!？」

一護「ここは……遊園地か？」

其処に4体のハンターと28本ある鎖が逃走者達の前に現れた。彼等はこれより恐怖のオープニングゲームが幕を開ける。

これより逃走者達は1〜28の番号が書かれてある鎖を引き抜かななくてはならない。

ただし、1つはハンターを放出するハズレの鎖。

その鎖を引き抜いた瞬間、ハンターが放出、ゲームスタートとなる。鎖を引く順番はくじ引きによって決まる……運任せだ……。

こなた「おお! 27番! 絶対に回らない!」

かがみ「ちよっ! 13番……中途半端な番号引いちゃった……」

つかさ「19番って回るのかな……」

みゆき「8番ですね」

政宗「shit! 4番かよ! なあ小十郎、番号変えてくれ」

小十郎「政宗様の願いでも、それはお断りいたします」

はやて「嘘！私がトップバッターって・・・有り得へん・・・」

なのは「はやてちゃん・・・ドンマイ」

ルキア「一護、この番号は良い方なのか？」

一護「どうだろうな・・・取り敢えず俺よりは良いな・・・」

まず最初に鎖を引くのはリリカルなのはチーム、八神はやて。機動六課の部隊長の彼女はこの状況を打破出来るか。

はやて「近いな・・・」

逃走者達とハンターとの距離は30メートル

フェイト「はやて〜！何番〜？」

はやて「28分の1やろ？まあ焦らず行こか、4番！」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

はやて「いくで〜!!」

ジャラジャラ!

全員「おお〜」

はやて「まっ、こんなもんやろ」

八神はやて クリア

鎖を引いた逃走者は先に、逃げる事が出来る。

はやて「それじゃお先に〜」

2人目はBLAECHチーム、朽木ルキア
死神と称される彼女が今、運だめしに挑む!

ルキア「ふむ・・・何を引こうか・・・」

一護「ルキア!いきなりハズレを引くなよ!」

ルキア「わかっておるわ!莫迦者!13番・・・」

クリア・・・ハンター放出か・・・

ルキア「引くぞ・・・」

ジャラジャラ!

朽木ルキア クリア

ルキア「むっ、この髑髏マーク・・・なんだ？」

ルキアが引いた鎖には髑髏マークが、これが付いている鎖を引いた場合、ハンターから2メートル近づかなくてはならない・・・。

霊夢「なにやってんのよ!」

ギルガメッシュ「使えん女だ」

ルキア「貴様ら黙れ!」

そう言ったルキアはその場を離れた・・・。

3人目はFate/staynightチーム、アーチャー

ランサー「外せよ!弓兵!」

セイバー「ランサー!これはチーム戦です、それを言うのは理不尽です」

佐助「出さない事を祈ったほうがいいよ」

政宗「この次は俺だから・・・ハズレを引く事を祈るぜ・・・」

アーチャー「さて、確率は26分の1・・・15番で行く」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

アーチャー「いくぞ・・・はっ！」

ジャラジャラ・・・

アーチャー「何も起きないという事は・・・」

スバル「うあゝ、まだこのゲームやるんだ・・・」

アーチャー　クリア

政宗「次は俺の出番か・・・」

4人目は戦国BASARAチーム、伊達政宗

幸村「政宗殿！頑張るでござる〜！」

政宗「ah・・・何にするか・・・よし、seven！7番だ！」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

政宗「I will go! いくぜ・・・おらっ!」

ジャラジャラ!

全員「おお・・・」

政宗「F U っ、危なかったぜ・・・ん? NO! 髑髏マークだ!」

全員「はあ!？」

クツパ「貴様! 何故それを引く!」

こなた「鬼! 悪魔! 人でなし!」

政宗「It is annoying! 煩え!」

そう言い残し、政宗がその場を後にした・・・

5人目は東方Projectチーム、霧雨魔理沙

魔理沙「ここで引いたら、私は絶対に捕まるな・・・」

マリオ「そろそろ引いてくれよ! 次は俺の番なんだからな!」

魔理沙「じゃあ回してやるよ！22番！」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

魔理沙「行くぜ！おりゃ！」

ジャラジャラ！

魔理沙「ふう、さあ！お前の番だぜ！マリオ！」

霧雨魔理沙 クリア

これで5人目までが成功、残る鎖は23本となった・・・
恐怖のオープンニングゲームは後半へ・・・

オープニングゲーム part 2 (前書き)

いよいよ120分間の逃走劇が始まる！

オープニングゲーム part 2

オープニングゲームで現在5人がクリアし、残る鎖は23本。
6人目はスマッシュブラザーズチーム、マリオ。
世界中に愛されるミスターニンテンドーはハンターの放出を阻止で
きるか。

マリオ「うわ〜・・・こえ〜・・・」

一護「早くしろよ、んで早く捕まれよ」

マリオ「静かにしろよ!じゃあ、28番!」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

マリオ「出てくるなよ・・・そらっ!」

ジャラジャラ!

マリオ クリア

マリオ「よし!・・・って!觸體マーク!!!」

ランサー「おいおい、何やってんだよ!髭オヤジ!」

アリス「一体どうなることやら・・・」

なのは「25番かな、うん、25番引くよ!!」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

もしハンターを放出すれば、4体のハンターが高町なのはに襲いかかる!

更にハンターの距離は20メートル、放出されれば確保されるのは1人では済まない。

なのは「行きます!」

ジャラジャラ!

なのは「ふう・・・良かった」

フェイト「なのは・・・罫體マークが付いてる」

なのは「え!? ホントだ!」

セイバー「また罫體マークとは・・・」

ルイージ「もう僕怖いよ・・・」

高町なのは クリア

しかし、髑髏マークを引いてしまったため、ハンターとの距離は18メートルとなった。

一護「次は俺か、よし行くぜ！」

15人目はBLEACHチーム、黒崎一護
14分の1という確立でハンター放出となってしまうのか。

一護（そろそろハズレを引きそうだな・・・覚悟を決めるか・・・）

織姫「黒崎君！何番？」

一護「じゃあ・・・11番」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

一護「行くぜ・・・おらっ！」

ジャラジャラ！

全員「おお〜」

黒崎一護 クリア

一護「髑髏マークもないな、井上、先に行ってるぜ」

16人目は スマッシュブラザーsteam、ルイージ

ランサー「アイツ、ハズレ引きそうだな・・・」

ワリオ「お前もか？俺様もなんか不安になってきた・・・」

ルイージ「よし！27番！」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

ルイージ「行くよ！それっ！」

ジャラジャラ！

全員「嘘っ！」

ルイージ「やった！抜けた！やった！って・・・罫罫マークだっ
っ！」

ワリオ「お前ら兄弟で罫罫マーク引くなっっ！」

ルイーダ クリア

しかし、罫線マークを引いたためハンターからは僅か16メートルとなった。

続いて17人目はリリカルなのはチーム、フェイト・T・ハラオウン。

フェイト「確率は12分の1・・・ここで引けば・・・」

小十郎「何番なんだ？」

フェイト「これにしよう、12番！」

クリアか・・・ハンター放出か・・・

フェイト「行きます・・・やっ！」

ジャラ！ガコン！プシュー！

残った逃走者「うああああ！！！」

フェイト「嘘っ！」

ゲームが・・・始まった・・・。

ハンターが最初に目をつけたのは・・・。

フェイト「私〜!？」

フェイトだ・・・

フェイト「嘘!速い!うあああ!」ポンッ

残り時間119分44秒 フェイト・T・ハラOWN確保 残り2
7人 リリカルなのはチーム残り3人

フェイト「一番最初に確保されなくなかったのに・・・屈辱だ〜・・・」

ブルルルル!ブルルルル!

政宗「mailって奴か？」

魔理沙「『タワークロックエリア メリーゴerland付近にてフェイト・T・ハラOWN確保』」

なのは「フェイトちゃん・・・捕まった・・・」

マリオ「残り27人、リリカルなのはチーム残り3人・・・」

霊夢「始まったわね・・・、賞金は貰うわよ!」

はやて「いきなりハンデ背負っでもうた・・・」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金が貰える・・・それが・・・

r u n f o r m o n e y 逃走中

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ！ part1(前書き)

ゲームが始まりました！

逃走者達は賞金を獲得できるか！

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ！ part 1

遂に始まった120分間の逃走劇！

果たして賞金144万円（1人36万円）を獲得するのはどのチームか！

今回の逃走の舞台となるのは、夜の遊園地を舞台となっている。

南のタワークロックエリア、東のフォレストラウンジエリア、西のロードキャッスルエリア、そして北のレインボースカイマウンテンエリアに分かれている。

合わせて東京ドーム凡そ10個分の広さを逃走者達は逃げ回る。

賞金は1秒毎に200円ずつ上昇していき、120分間逃げ切れば144万円（1人36万円）を獲得できる。

なお、このゲームは自首も出来る。

遊園地内にある4ヶ所の電話機から自首を申告すれば、その時点までの賞金を獲得できる。

しかし自首が出来るのは、チームが1人になった時のみ。

なおハンターに捕まれば失格となり4人とも捕まれば、そのチームの賞金は0。

ハンターは驚異のスピードと持久力を併せ持つ、逃げ切るのは容易ではない。

幸村「賞金を手に入れば、沢山甘味を食べれるでござる！」

意気揚々と歩く、真田幸村。
どうやら甘い物には目もくれないようだ。

スバル「いきなりフェイトさんが捕まるなんて・・・」

フェイトが確保されたため、試合開始直後から3人になってしまったりリカルなのはチーム。
その1人、スバル・ナカジマはロードキャッスルエリアの城前に居る。

スバル「まだ2分しか経ってないのにもう2万4千円・・・凄い！」

雨竜「色んな人が居るんだな・・・」

プルルルル！プルルルル！

雨竜「わっ！何だ！？」

メールだ・・・。

ワリオ「ミッション1か」

アーチャー「4つエリアにハンターボックスを合計8つ設置した」

佐助「残り100分になるとハンターがエリアから放出される」
嘘だろ!？」

幽香「阻止するには2つある内のレバーを1つ下げなければなら
ない」
「ふーん」

はやて「当たればその場で封印、ハズレれば封印を解けず放出さ
れる」
「え!？」

ルイージ「レバーを下げてても封印されないで放出されるんだ・・・」

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ!

4つのエリアに2つずつ、合計8つのハンターボックスが設置され
た。

残り100分になるとハンターがエリアに放出される。それを防ぐ
には、2つあるレバーの内、1つを下げなければならぬ。

しかし、封印出来るレバーは2つに1つ、もしハズレのレバーを引
いた場合は何も起こらない。

レバーを下ろせるのは1度のみ・・・。

こなた「と言う事は・・・レバーを引いても封印される訳じゃ無い
んだ」

マリオ「これは行くしかないだろう、何もしなくても放出されるよ

りはハズレて放出される方がマシだろ」

セイバー「参加しましょう・・・増えるのは物凄く厄介です」

つかさ「誰かがやってくれるよ・・・」

政宗「I d o i t、俺はやるぞ、何事もc h a l l e n g eだ」

スバル「ん？あれって・・・ハンターボックス！やった！見つけた
！」

スバルが偶然、ロードキャッスルエリアにあるハンターボックスを
見つけた。

ハンターボックスは2つのレバーによって、成功か、失敗かどちら
かになる・・・

スバル「確かに2つのレバーがある・・・どっちにしよう・・・」

悩んだ挙句、遂に決心したようだ。

スバル「よし・・・右行きます！お願い、封印して！」

封印成功か・・・それとも失敗か・・・

スバル「えいつ！」

ガシャン！ピー！

スバル「止まった・・・？やった！封印成功した！」

これで残るハンターボックスは7つ・・・

ランサー「ハンターボックスって言うのはどこだ？」

ハンターボックスを探すランサー、彼もミッションに向かうようだ。しかしそのランサーにハンター・・・。

ランサー「タワークロックエリアのハンターボックスに向かうか・・・来てるぜ・・・」

見つかった・・・

ランサー「流石だな、だが俺も負けてねえぜ」

アリス「あれって・・・ランサー？ちよっ！何で此方に来てるのよ！」

更にそこにいたアリスがランサーの巻き添えを喰らう。
そしてランサーがアリスを追い抜いた。
ハンターの標的がランサーからアリスに変わった。

アリス「え！？何で！？速い・・・」ポンツ

残り時間 113分41秒 アリス・マーガトロイド確保 残り26
人 東方Projectチーム残り3人

アリス「私・・・完全に巻き添えにされた！」

ランサー「はあ・・・はあ・・・振りきったぜ・・・」

ブルルルル！ブルルルル！

小十郎「ん？メールか・・・」

霊夢「『タワークロックエリア、観覧車付近にてアリス・マーガトロイド確保』アリス捕まったわね」

魔理沙「アリス・・・くっ！」

ランサー「見つけたぜ！」

メリーゴーランドにあるハンターボックスを見つけた、ランサー。

ランサー「左だ、行くぜ」

ガシャン！

ランサー「ん？何も起きねえぞ・・・まさか！」

そう、ランサーが下ろしたのはハズレのレバー。

これにより、ハンターが1体放出されるのが確定された。
これで残るハンターボックスは6つ。

果たして逃走者達は封印することが出来るのか！

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ！ part2 (前書き)

マイペースで更新していきます！

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ！ part 2

ミッション1はハンターボックスを封印をする事。

封印をするためには2つあるレバーの内、1つを下ろさなくてはならない。

しかし、ハズレのレバーを引けば、何も起きず、ハンターを封印できなくなる。

現在ハンターボックスは1つ封印され、残り6つ。

逃走者達は全てのハンターボックスを封印出来るか。

ルイージ「絶対に誰かがやってくれるはず・・・」

フォレストラウンジエリアの森の迷路の中に居る、ルイージ。

どうやら、ミッションには行かないようだ。

ルイージ「ハンターが怖いよ・・・早く終わってほしいよ・・・」

怖がりな上に引っ込み思案のようだ・・・

ルキア「ここなら安全だな」

レインボースカイマウンテンのジェットコースターの入口の中に居る、朽木ルキア。

ルキア「流石にこれは体力の温存をしたほうが良さそうだな・・・」

動く気配は無いようだ・・・

魔理沙「霊夢に電話するか・・・」

プルルルル！プルルルル！

霊夢「わっ！何！？電話ね・・・魔理沙からか、もしもし」

魔理沙「霊夢か？今何処に居るんだ？」

霊夢「フォレストラウンジの迷路に居るわ」

魔理沙「ミッションには行かないのか？」

霊夢「行かないわよ、面倒臭いし、じゃあね」「ピッ

魔理沙「あっ！切りやがった・・・何だよ、幽香は・・・行かなそうだな」

幽香「ボックスね・・・魔理沙辺りねやるのは・・・」

更に此方でも・・・

プルルルル！プルルルル！

クツパ「なっ！何なのだ！？マリオからか・・・」

マリオ「クツパか？ミッションをやるのか？」

クツパ「やりたいのは山々何だが、俺様の足だとハンターに確実に確保されるぞ」

マリオ「そうか、ルイージにも電話をしたんだが繋がらなかった」

クツパ「彼奴は止めた方が良かったらう」

マリオ「分かったじゃあな」ピッ

クツパ「マリオだけには負けたくないな・・・」

政宗「あれだな・・・」

フォレストラウンジエリアのキッズパークの前にハンターボックスを見つけた、伊達政宗。

政宗「これは悩むのは駄目だ、直感で行くぜ、左だ」

政宗は左のレバーに手を掛けた。

政宗「ふんっ！」

ガシャン！ピー！

ハンターボックス封印成功

政宗「excellent！やったぜ！」

そして別のエリアでも・・・

セイバー「これがハンターボックスですか？」

ロードキャツスル、キャツスルコースター前のハンターボックスに
やってきたセイバー。

セイバー「左で行きます・・・やっ！」

ガシャン！ピー！

セイバー「これで大丈夫ですね」

更に別の場所でも・・・

みゆき「ここですね」

レインボースカイマウンテン、ジェットコースターの近くにハンターボックスを見つけた高良みゆき。

みゆき「右でいきます・・・それ!」

ガシャン!

しかし、何も起こらない。

みゆき「マズイですね、放出が確定になってしまいました・・・」

これによりハンターが2体追加する事が確定した。

残るハンターボックスは3つ。

残り時間は8分を切っている。

プルルル!プルルル!

なのは「もしもし？スバル？」

スバル「あつ、なのはさんですか？」

なのは「スバル、ミッション行ってるの？」

スバル「はい、さっきハンターボックスを見つけて封印に成功しました」

なのは「凄い！スバル、私も頑張らないといけないな」

スバル「なのはさんは今何処に居ますか？」

なのは「今はフォレストラウンジのゴーストヴィレッジに居るよ、スバルは？」

スバル「今はロードキャツスルのお城の前に居ますよ」

なのは「うん分かった、じゃあ頑張ってるね」

スバル「はい！それでは！」ピッ

なのは「凄いな、スバル」

幽香「あれかしら？」

偶然、レインボースカイマウンテンのスタートレインの前にハンターボックスを見つけた風見幽香。

幽香「それっ」

ガシヤン！ピー！

躊躇なく右のレバーを下ろし、ハンター封印に成功した。

幽香「それじゃ、後は誰かに任せましょ」

小十郎「ハンターボックスは何処だ？」

ハンターボックスを探す、片倉小十郎。

小十郎に迫るハンター……。

小十郎「ここら辺りにボックスが有ることを……見つけたか……」

ハンターを見つけ、踵を返す、片倉小十郎。
しかし逃げた先に……ハンター……。

小十郎「気付いていないのか？ここから……まさか！」

今度は気付かれた……。

小十郎「確かに速いな！とてもじゃないが逃げ切れん！」

懸命に逃げるも徐々に近づく黒い影。

小十郎「ここまでか……」ポンッ

残り時間106分21秒 片倉小十郎確保 残り25人 戦国BA
SARAチーム残り3人

ハンターによって討ち取られた……。

小十郎「はあ……はあ……、政宗様……申し訳ありません……」

ブルルルル！ブルルルル！

マリオ「メールだ……確保情報か」

政宗「『フォレストラウンジエリア、ゴーストヴェレッジ付近にて
片倉小十郎確保』oh my god！何てこった！」

佐助「右目の旦那も、捕まったか」

なのは「やばい！さっきまで私がいた場所だった……助かった……」

ギルガメツシュ「ふん……雑種共が捕まっておるわ」

キツズパークに隠れ続けるギルガメツシュ。

ギルガメツシュ「取り敢えずハンターに気を付ければ良いのだろう？」

隠れる英雄王……

現在3人が確保されたため、残る逃走者は25人。

レバーを下ろしていないハンターボックスは残り2つ。

果たしてハンターを封印出来るか。

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ！ part3 (前書き)

ミッション1終了です！

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ！ part3

ミッション終了まで6分を切った、ハンターボックスのレバーを下していないのは2つ。

下していないハンターボックスはタワークロックエリアのメリーゴ
ーランド前とフォレストラウンジエリアの森の迷路の中にそれぞれ
設置している。

メリーゴーランドに一番近いのはランサー、森の迷路はルイージと
博麗霊夢が隠れている。

果たしてハンターボックスを封印することができるのか。

ランサー「ハンターボックスは何処だ!？」

メリーゴーランドのハンターボックスが一番近いランサー。
しかし徐々に遠のいていく……

ルイージ「早く終わらないかな……」

森の迷路の中にある、ルイージ……そこへ……。

霊夢「あら？ルイージじゃない、どうしたの?」

ルイージ「あつ、霊夢」

博麗霊夢と合流、これはチーム戦だが、別のチーム同士で力を合わせ事も可能だ。

ルイージ「ハンターが怖いんだよ・・・どうすればいいか分からないんだ・・・」

霊夢「臆病ね・・・、ミッションが誰かやらないと、ハンターが増えるでしょ？」

ルイージ「それはそうだけど・・・」

霊夢「大体、ここにハンターが来たらたまったもんじゃないわ」

霊夢の言うとおり、森の迷路にハンターが接近・・・。

徐々に2人に近づく、ハンター・・・。

2人はハンターに気づいていない。

ルイージ「うう・・・ハンターが来たらやばいよ・・・」

霊夢「取り敢えずここから、移動した方が・・・、ルイージ！来たわよー！」

ルイージ「えっ！？何！？」

ここで漸く気づいた2人・・・しかし・・・。

ハンターにも気づかれてしまった……。

ルイージ「怖いよ〜！助けて〜！兄さん〜！」

霊夢「煩いわよ！大声出したらハンターに場所を教えてるようなものじゃない！って……あれは……」

2人は漸く出口に出てきて、2手に別れる、そして、ハンターの標的となったのは……。

ルイージ「ぎよえ〜！！！」

ルイージだ……。

徐々に遠くなっていくルイージに、霊夢は足を緩めた。

霊夢「さっきのあれは……ハンターボックス？行って見たほうが良いわね」

再び霊夢は森の迷路に入っていった。

一方ルイージは……。

ルイージ「何でこうなるの〜！」ポーンッ

残り時間 104分28秒 ルイージ確保 残り24人 スマブラチ
ーム残り3人

確保された・・・。

臆病な性格が仇となってしまったようだ・・・。

ルイージ「嘘だ〜！」

プルルルル！プルルルル！

織姫「あつ！メールだ」

佐助「『フォレストラウンジエリア、森の迷路付近にて、ルイージ確保』あらら、緑の旦那って臆病な性格だから」

マリオ「絶対最初辺りで捕まると思った、正直に言って使えない・・・」

魔理沙「森の迷路って霊夢が居たよな、どっかに行ったのか？」

つかさ「怖いな〜、こなちゃんに電話しようかな・・・」

プルルルル！プルルルル！

こなた「何だろう・・・つかさからだ、もしもしつかさ？」

つかさ「こなちゃん、今何処に居るの？」

こなた「ん？あたしは北エリアのベンチに隠れてるよ、つかさは？」

つかさ「あつ、私も北エリアのベンチに居るんだ」

こなた「別のベンチで隠れてるんだ、かがみやみゆきさんは大丈夫かな」

つかさ「お姉ちゃんとゆきちゃんなら大丈夫だよ、有難うこなちゃん、お陰で元気が出てきたよ」

こなた「そう？良かった、それじゃあ頑張つてね」

つかさ「うん！頑張ろうね」ピッ

こなた「つかさも苦労するねえ・・・」

霊夢「あつた！確かにハンターが入ってるわね」

ハンターボックスを見つけた、博麗霊夢。

霊夢「ここで出してしまったら、ここを出なくちゃならないし・・・
右ね・・・よつと！」

ガシャン！

霊夢「あら？何も起きない・・・、という事は・・・出よう」

これでハンター放出は3体となった。

残るハンターボックスはタワークロックエリアのメリーゴーランド前の1つだけとなった。

現在一番近いランサーでも距離は200メートルある。

残り時間は3分30秒、間に合うのか！

アーチャー「ここはもう封印されているか・・・」

ミッションに参加しているアーチャー。

しかし、既にここにあるハンターボックスは封印されている。

織姫「あれ？あそこに居るのは・・・ランサー君？」

ランサー「あれは織姫ちゃんか？」

ここでランサーと織姫が合流。

織姫「何をしてるんですか？」

ランサー「ハンターボックスを探してるんだが、何処にあるか分か

らねえんだ」

織姫「多分だけど、メリーゴーランドとかにあったりして」

ランサー「じゃあ、行ってきたらどうだ？」

織姫「え〜〜!？」

ランサーは織姫にメリーゴーランドに行く事を進めてしまった。

織姫は泣きながらメリーゴーランドに向かった。

ランサー「すまねえな、こつでもしねえと、俺は生き残れないんだな」

悪事を働く・・・男・・・。

プルルルル!プルルルル!

一護「出ねえのか?井上は・・・別の奴に電話するか」

一護が電話に出た相手とは・・・。

プルルルル!プルルルル!

政宗「ah?電話か・・・、黒崎一護?ああ・・・あいつか」「ピッ

一護「えっと、伊達政宗で合ってるよな?」

政宗「yes、奥州筆頭伊達政宗だ、それで何の用だ?敵チームに電話とはな」

一護「別に構わねえだろ!確かに敵同士だが、ミッションは力を合わせなきゃなんねえだろ!」

政宗「・・・それもそうだな、You are where now?」

一護「今何処に居るかって?今はスタートレインの近くに居る」

政宗「それで、誰か居るのか?」

一護「そうだな・・・緑色の髪形をしていて、チェックのスカートをしているな」

政宗「(髪形を見ると・・・風見幽香とかいう女か?)分かった、今は俺はタワークロックエリアに居る」

一護「そうか・・・、って!後1分を切ってやがる!」

政宗「何!?俺もお前もいけねえから、誰かに行くしかないのか・・・」

その頃、ランサーに押しつけられた、織姫は……。
漸く、メリーゴーランド前にあるハンターボックスに到着した。

織姫「や……。やっと着いた……。」

ミッション終了まで30秒

織姫「はっ！そうだった！止めないとハンターが来るんだっ！え
つとえつと右……。左！」

織姫は左のレバーを手に取った。
封印成功か……。失敗か……

織姫「や〜！」

ガシャン！ピー！
ハンター封印成功……。。

織姫「はあ……。止まったの？良かった……。」

5
4
3
2
1

ブシューー！ガシャン！

エリアから3体のハンターが解き放たれた。
プルルルル！プルルルル！

ワリオ「ミッション結果だ」

みゆき「『ミッション結果、全てのハンターボックスのレバーを下すことに成功』やりました！」

なのは「『しかし、その内3つのハンターボックスのレバーがハズレのレバーを下したため』」

セイバー「『ハンターが3体放出され、合計7体となった』非常にまずいですね」

かがみ「嘘でしょ！本当にハンターが来てる……」

織姫「はあ……、結局放出されたんだ……」

その織姫のところに、ハンター……。
気づかれた……。

織姫「もうちょっと、休んだ方がいいよね……来てる！？嘘ッ！
ポンッ

残り時間 99分31秒 井上織姫確保 残り23人 BLEACH

チーム残り3人

織姫「も～～～！！！！ランサー君のせいだ～～～！！！！」

プルルルル！プルルルル！

幸村「メールでござるか？」

雨竜「『タワークロックエリア、メリーゴーランド付近にて、井上織姫確保』井上さんが捕まった！」

ランサー「やっちまったな、俺……」

クツパ「20分で既に5人確保されたか……」

スバル「捕まるスピードが早い……、全滅も覚悟しないと……」

現在5人が確保され、残る逃走者は23人となった。

エリアにはハンターが7体、逃走者に安全な場所など、無い……。果たして！逃走者はハンターの視界から掻い潜り、賞金を獲得できるのか！

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ！ part1 (前書き)

ミッション2 開始です！

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ！ part 1

ミッション1でハンターが3体放出され、合計7体となった。
現在5人の逃走者が確保され、残り23人となった。
果たして賞金144万円を手にするのは何処のチームか。

牢獄deトーク

ルイージ「ハンター怖かったよ〜！」

アリス「あなたそれでも男なの!？」

フェイト「次はどんなミッションだと思っ？」

小十郎「多分、協力ミッションだろう」

織姫「根拠は？」

小十郎「余り根拠と言うものは無いな、だが次は確実に協力ミッションだろう」

フェイト「この腕に何かヒントがあるかも」

ピー…ピー…ピー…

マリオ「何だ！鳴ってる！？」

かがみ「これじゃハンターに見つかるじゃない！」

はやて「あかんや、これどないしょ…」

プルルルル！プルルルル！

はやて「なっ！メールか！？」

メールだ…。。

幸村「ミッション2でござる」

ワリオ「『君達の腕にあるのは時限アラームだ』煩いなこれ」

みゆき「『このアラームは時間が経過するほど音が大きくなる』これは困りました」

雨竜「『装置を止めるには他の逃走者のカードキーを通さなければ

ならない』」

アーチャー「『なおこのカードキーは何度でも使える』これか」

逃走者達はカードキーを取り出す。

霊夢「誰かに会わないといけないの？」

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ！

逃走者達の右腕にある、時限アラーム装置が作動した。

このアラームは時間を経ては経つほどアラームは大きく鳴る仕組みとなっている。

アラームの音にハンターが反応した場合、その位置情報が伝わり、確保へと向かう。

解除するためには他の逃走者のカードキーを通さなければならない。

クツパ「近い奴に電話をした方がいいな・・・」

政宗「誰かここを通るのか？」

一護「たしか向こうに緑髪にチェックのスカートをしてる奴が近くに居たな・・・探すか」

黒崎の言う、緑髪にチェックのスカートをしている奴と言えば・・・

幽香「確かに煩いわねこれ、壊したいくらい鬱陶しいわ」

幻想郷でトップクラスの力を持つ妖怪、風見幽香だ……。

黒崎一護は風見幽香を妖怪だと言う事に全く分らないようだ。

一護「居た！おい！あんた！」

幽香「あら？貴方は人間かしら？」

一護「ん？まあ、人間でもあり、死神代行でもあるしな」

幽香「あらそうなのね、死神ね……」

一護「どうしたんだ？」

幽香「いいえ、何でもないわ、さっミッションをやるわよ」

一護「あつ、ああ……」

黒崎一護 風見幽香 ミッションクリア

セイバー「近い人に電話しましょう」

プルルル！プルルル！

かがみ「誰かしら・・・セイバー？もしもし」

セイバー「柊かがみですか？」

かがみ「ええ、ミッションをやるの？」

セイバー「はい、長引けば長引く程不利になります、待ち合わせをしましょう、何処に居ますか？」

かがみ「私はフラワーランドに居るわ」

セイバー「結構近いですねそれでは、城前に来てください」

かがみ「ちょっと待て、そっちが来るでしょ！普通」

セイバー「来てください」ピッ

かがみ「あっ！何か凄いムカつく・・・」

その柊かがみの近くに・・・ハンター・・・。

かがみ「ちよっ・・・ハンターが居た・・・少々不本意だけど、行くしかないか・・・」

こなた「つかさ！良かった」

つかさ「こなちゃん！」

同じエリアに偶然一緒だった、泉こなたと柊つかさが合流。しかし、近くのハンターがアラームに反応した。

こなた「じゃあ行くよ」

つかさ「うん！せーの！」

泉こなた 柊つかさ ミッションクリア
ミッションクリアと同時にハンターに見つかった……。

つかさ「こなちゃん！後ろ！」

こなた「ん？うおおああ！？」

2人の逃げた先に……

一護「なんだ？って！マジかよ！」

幽香「そんな事行ってる暇があったら逃げるわよ」

黒崎一護と風見幽香を巻き添えに……。
更にもう1体ハンター……。

こなた「囲まれてたまるか！」

一護「ちょ！俺を狙うか!？」

ハンターに追われているのは泉こなたと黒崎一護だ……。

つかさ「こなちゃん……」

幽香「ふう、速いわね……私足が遅いから捕まるかと思ったけど」

終つかさと風見幽香はハンターの視界から消えたようだ。

一護「こんな早くに捕まってたまるか！」

黒崎一護はハンターを振り切ったようだ。

こなた「にゃあああ!!!」ポーン

泉こなたは……確保された。

残り時間 9分54秒 泉 なた確保 残り22人 らき すた子
ム残り3人

こなた「え！？もう終わり！？嘘だ、まだ30分も経ってないよ
」

プルルル！プルルル！

ワリオ「メールだな」

かがみ「あ！なたが捕まった……」

佐助「ん？あれは……」

一方メリーゴーランド付近を搜索中の佐助は……。

佐助「スバルちゃん！」

スバル「佐助さん？」

スバル・ナカジマと合流。

スバル「佐助さん！早くミッションをやりましょう！」

佐助「はいよ」

スバル・ナカジマ 猿飛佐助 ミッションクリア

ルキア「しかし、一護は何処で何をしているのだ？」

プルルルル！プルルルル！

一護「ルキアからか、何だ？」

ルキア「一護、今何処に居るのだ？」

一護「フォレストラウンジに居る、ハンターに追われて逃げてきた」

ルキア「そうか・・・私は今ゴーストヴィレッジに・・・！」ピッ

一護「なっ！切りやがった」

ルキア「くっ・・・ハンターか・・・」

ルキアが見た先にはハンター・・・。
キッズパークに逃げ込むとそこに居たのは・・・。

ギルガメツシュ「む？」

英雄王ギルガメツシュだ……。

ルキア「貴様はギルガメツシュと言う奴か」

ギルガメツシュ「死神か、我もミッションに参加してやる、有り難く思うのだな」

ルキア「何を言っているのだ、早くミッションを行っぞ」

しかし後ろにハンター……。

ルキア「しまった！」

2人のアラームにハンターが反応した。

キッズパークの出口は1つしかない。

ハンターの標的となったのは……。

ルキア「そんな！私か！」

朽木ルキアだ・・・。

ギルガメツシュはどうやら逃げ延びた様だ。

ルキア「まさかこんな事になるとは・・・くっ！」ポンッ

アラームの音、恐るべし・・・。

残り時間91分55秒 朽木ルキア確保 残り21人 BLEAC
Hチーム残り2人

ギルガメツシュ「我はこのような輩には屈さぬ」

しかしギルガメツシュの近くにハンターが接近・・・。

ギルガメツシュ「ハンターとか言う輩は何故我に屈さぬのか」

ギルガメツシュがハンターに見つかった・・・。

ギルガメツシュ「ふむ・・・セイバーに電話とやらをするか」

ポンッ

ギルガメツシュ「何だと？」

残り時間91分21秒 ギルガメツシュ確保 残り20人 Fat
e / s t a y n i g h t チーム残り3人

ギルガメツシュ「どう言うことだ？我は負けたのか？」

慢心し過ぎた結果だ……。

ブルルルル！ブルルルル！

一護「ルキアが捕まった！そうか、近くに居たのか……」

セイバー「ギルガメツシュも確保されましたか」

ランサー「何やってんだ！？あの英雄王は！」

雨竜「ヤバイな……僕達のチームが僕と黒崎だけになってしまった……」

マリオ「流石にハンター7体はきついな」

アラームでハンターが反応すると、その位置情報が伝わり確保へと向かう。

残る逃走者は20人、果たして逃走者達の運命は！

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ！ part2 (前書き)

携帯で打つと物凄く時間が掛かります・・・

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ！ part 2

ミッション2は逃走者達の腕に時限アラーム装置が作動した。そのアラームは時間が経てば経つほどアラームの音が大きく鳴る仕組みだ。

阻止するには他の逃走者に出会い、カードキーを通さなくてはならない。

マリオ「ワリオに電話するか」

チームメイトに電話する、ミスターニンテンドー。

プルルルル！プルルルル！

ワリオ「俺だよ！ワリオだよ！なんだマリオか」

マリオ「ワリオ、今何処に居る」

ワリオ「今か？メリーゴーランドだ」

マリオ「ちょっと遠いな〜・・・」

ワリオ「遠いって・・・お前は何処に居るんだよ」

マリオ「キャッスルコースターに居るんだが」

ワリオ「確かに遠いな、誰か近くに居るのか？」

マリオ「ちょっと待てよ？誰か居るから切るわ」ピッ

マリオが見つけたのは・・・

ワリオ「なっ・・・向こうから電話しやがったのに・・・」

セイバー「来ましたか、かがみ」

かがみ「はあ・・・はあ・・・全く、まあハンターが居たから感謝しないと」

セイバー「そうですね、有り難う御座います」

マリオ「かがみ！セイバー！」

マリオが見つけたのは、終かがみとセイバー。

セイバー「マリオ」

マリオ「はあ・・・、俺も良いか？」

かがみ「良いわよ」

3人はカードキーを取りだし、装置に通した。

マリオ 柊かがみ セイバー ミッションクリア

マリオ「良かった・・・じゃっ！俺は行くよ」

こうしてマリオは2人に離れ、タワークロックエリアへと走っていった。

セイバー「有り難う御座いますかがみ、貴方のお陰で助かりました」

かがみ「わっ！私は自分の為だと思ったからやっただけよ！」

霊夢「迷路で隠れてもアラームで見つかりそうだし・・・」

プルルルル！プルルルル！

霊夢「え！？誰がまた捕まったの！？違うわね、電話だわ、もしもし?。」

霊夢にかかってきた者は・・・

なのは「もしもし？霊夢ちゃん？」

高町なのはだ・・・。

霊夢「なのはだっけ？何で私に電話してきたの？」

なのは「ハンターに追われた霊夢ちゃんを見つけたから、近くに居るかなって」

霊夢「そうなの、今フォレストラウンジに居るんだけど」

なのは「あっ！結構近い！私は今、ゴーストヴィレッジの近くにあるベンチに居るの」

霊夢「分かったわ、じゃあそっちに行くから」

なのは「うん、待ってるよ」「ピッ」

霊夢「ゴーストヴィレッジって、此方よね」

なのはの処へ向かう、博麗の巫女。

幸村「ん？雨竜殿！」

雨竜「真田君！ミッション！」

偶然、石田雨竜を見つけた真田幸村。

真田幸村 石田雨竜 ミッションクリア

雨竜「真田君、助かったよ」

幸村「雨竜殿、この場を離れた方が良さそうだし」

雨竜「そうだね、離れようか」

魔理沙「何処に誰が居るか分からないな・・・」

ミッションをクリアするため移動する霧雨魔理沙。
しかし、魔理沙の近くにハンター・・・。

魔理沙「誰も居ないな・・・どんどん大きくなって」

近くのハンターが霧雨魔理沙のアラーム音が伝わった。

魔理沙「ヤバイな、少なくともこんな所で捕まりたくないぜ・・・」

って！マジかよ！」

見つけた……。

魔理沙「ヤバイぜ！これは有り得ない！」

更にもう1体ハンター……。

魔理沙「うわあああ！！！」ポント

残り時間 8 8 分 1 7 秒 霧雨魔理沙確保 残り 1 9 人 東方 P r o
j e c t チーム残り 2 人

魔理沙「ああ！終わった〜！」

こんな所で捕まってしまった……。

プルルル！プルルル！

アーチャー「『ロードキャッスルエリア、フラワーガーデンにて霧
雨魔理沙確保』」

霊夢「魔理沙捕まったんだ……って！残ってるの私と幽香だけ！

「？」

プルルルル！プルルルル！

ワリオ「俺だよ！ワリオだよ！ってワリオかよ」

マリオ「ワリオか！？今そっちに行くから待ってくれ！」

ワリオ「そうか！？分かった、待ってるぞ」ピッ

マリオ「メリーゴーランドだったな」

霊夢「居た！なのは！」

なのは「霊夢ちゃん！良かった」

博麗霊夢が高町なのはと合流。

しかし、2人の近くにハンター……。

なのは「これで良いんだよね」

霊夢「そうね、よっと」

博麗霊夢 高町なのは ミッションクリア

なのは「霊夢ちゃん！ハンターが来てる！」

霊夢「あっ！ホントだ！」

ハンターは2人に気付いていないようだ。

なのは「はあ・・・はあ・・・、気付いてない？」

霊夢「危なかったわ・・・もし私が捕まったら、チームが幽香だけになってたわ・・・」

はやて「全然通らんわ・・・」

観覧車裏に身を潜める、機動六課の部隊長、八神はやて。こづしている間にも、アラーム音が徐々に大きくなっていく。

はやて「危険やけど、ここは行かなあかん」

意を決して、移動を始めた。

????「hey!はやて！」

八神はやてを呼ぶ声が聞こえた。
すかさず、足を止めたはやて、其処に居たのは……。

政宗「はやて！ come on！此方だ！」

奥州筆頭、伊達政宗だ……。

はやて「政宗君！ 大声出しすぎや！」

政宗「ah、sorryそんなことよりmissionをやるぞ」

はやて「ok、分かった」

八神はやて 伊達政宗 ミッションクリア

政宗「fu、何とかなっただな」

はやて「ホンマやな」

みゆき「誰か居ないのでしょか……」

スタートレインの前に移動してきた、高良みゆき。

実は高良みゆきがここに来る前、風見幽香と黒崎一護がミッションをクリアした場所である。

入れ違いになってしまったようだ。

幽香「あら？」

其処へ風見幽香が高良みゆきと合流。

みゆき「幽香さん」

幽香「確か・・・高良みゆきさんだったわね、ミッションはもう行ったかしら」

みゆき「いいえ、まだクリアしていません」

幽香「それじゃ、腕を貸しなさいカードキーを通すから」

高良みゆき ミッションクリア

マリオ「ワリオー！」

ワリオ「此方だ！マリオ！」

マリオ「すまないな、待たせてしまって」

ワリオ「気にしてねえよ」

ワリオ ミッションクリア

これにより、ミッションをクリア出来ていないのは、クツパ、アーチャー、ランサーの3人。

ランサー「しっかしハンターの奴あまり見掛けないな、待ち伏せとかしてるんじゃないの？」

ハンターは視界を捉えた逃走者を機械的に追跡する。
待ち伏せは……しない……。

ランサー「まさかここで鉢合わせにあったりしてな……てっ！」

ハンター「!!」

ランサー「マジかよ!!」

鉢合わせだ……。

ランサー「速すぎんだろ!!」

更にもう1体のハンター……。

ランサー「うおお！」ポーンッ

残り時間85分14秒　ランサー確保　残り18人　Fate/s
t a y n i g h t チーム残り2人

ランサー「何で鉢合わせしちまうんだ！」

ハンターは神出鬼没、何時何処でに現れるか分からない。

ブルルルル！ブルルルル！

かがみ「『ジェットコースター付近にて』」

スバル「『ランサー確保残り18人』ドンドン捕まっていく・・・」

セイバー「ランサーも捕まってしまいましたか・・・」

これで10人が確保され、残る逃走者は18人となった。
更にクツパとアーチャーはミッションをクリアしないと、アラームの音がハンターに伝わってしまう。
2人の運命は！

ミッション2 時限アライム装置を解除せよ！ part2 (後書き)

現在の残る逃走者おさらい

は確保されています

スマブラ

マリオ

ルイージ

ワリオ

クッパ

戦国BASARA

伊達政宗

真田幸村

片倉小十郎

猿飛佐助

魔法少女リリカルなのはStrikers

高町なのは

フェイト・T・ハラオウン

八神はやて

スバル・ナカジマ

らき すた

泉こなた

柊かがみ

柊つかさ

高良みゆき

東方Project

博麗霊夢

霧雨魔理沙

アリス・マーガトロイド

風見幽香

BLEACH

黒崎一護

朽木ルキア

井上織姫

石田雨竜

Fate/staynight

セイバー

アーチャー

ランサー

ギルガメッシュ

残る逃走者 18/28

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ! Part3 (前書き)

ミッション2 終了です!

ミッション2 時限アラーム装置を解除せよ！ part3

ミッションをクリアしていないのは、クツパとアーチャーの2人。2人は他の逃走者に出会い、カードキーを通さなければならぬ。果たして2人はミッションをクリアすることが出来るのだろうか。

プルルルル！プルルルル！

政宗「メールだ」

マリオ「『ミッションをクリア出来ないのは、クツパとアーチャーの2人』」

セイバー「これは大変ですね、アーチャーに電話しましょう」

プルルルル！プルルルル！

アーチャー「セイバーか」

セイバー「アーチャー、今何処に居ますか？」

アーチャー「ロードキャッスルエリアに入った所だ」

セイバー「なら近いですね、私は城前で待っています」「ピッ

アーチャー「城前か・・・行くぞ」

プルルルル！プルルルル！

マリオ「クッパ！」

クッパ「マリオか！今何処に居る！早く俺様の所へ来い！」

マリオ「普通はお前が俺の所に来るだろう！」

クッパ「俺様は足が遅いのだ！早く場所を教えるからおまえが来い！」

クッパがマリオと話している所に・・・ハンターが接近・・・。
そして、クッパのアラーム音がハンターに伝わった。

クッパ「とにかく！お前がこっちに来れば・・・！」「ピッ！

マリオ「あっ！アイツ・・・自分から掛けてきたのに切りやがった」

クッパ「ぐおおあああ！」

クッパは足がかなり遅い・・・。

クツパ「のああああ！」ポント

残り時間 8分55秒 クツパ確保 残り17人 スマブラチーム
残り2人

足の驚異的な遅さが仇となってしまった……。

クツパ「俺様の様な足の遅い奴がハンターから逃げるのは無理か……」

プルルルル！プルルルル！

一護「確保情報……」

マリオ「クツパ確保！」

みゆき「どんどんと捕まっています……」

これにより、アラーム音を消していないのはアーチャーのみとなった。
アーチャーはセイバーの居る城前を目指している。
そこへ……。

「????アーチャー！」

「アーチャー「ん？お前は！」

「アーチャーを呼びとめたのは……。

かがみ「こつちよ！早く来て！」

「柊かがみだ……。

「アーチャー「すまない……。」

かがみ「こつちよという事はお互いさまじゃない」

「アーチャー ミッションクリア

「これにより、全ての逃走者がミッションをクリアしたことになる。」

はやて「残り時間80分か……40分逃げた事になるな」

佐助「1秒200円だから……48万円！すげえ！」

賞金は1秒毎に200円ずつ常に上昇している。

120分間逃げ切れれば賞金は144万円を獲得できる。
しかしハンターに捕まれば失格、4人全員が確保されれば賞金は0。
。。。

霊夢「これは恐怖だわ。。。」

現在、森の迷路に隠れている、博麗霊夢。。。
しかし、その迷路にハンターが接近。。。

霊夢「来てるわね。。、出口に向かおう。。。」

直ぐに気づき、迷路を抜け出すようだ。。。

ハンター「!」

霊夢「こっちに来てる!?嘘!」

見つかった。。。

霊夢「だけど、何とかいけるかも!振り切れる!」

しかし出口付近にも。。、ハンター。。。

霊夢「えっ！？うああ・・・」ポンッ

残り時間 7分27秒 博麗霊夢確保 残り16人 東方Project
チーム残り1人

挟み撃ちだ・・・。

霊夢「挟み撃ちとか酷くない！？ねえ！反則じゃない！」

プルルルル！プルルルル！

フエイト「『森の迷路付近にて博麗霊夢確保！』」

魔理沙「うあああ！霊夢が捕まった〜！」

アリス「てことは・・・、私達のチームで残ってるのって・・・」

幽香「チームで残ってるのは私だけか・・・」

東方Projectチームで残っているのは風見幽香1人のみとなつた。

チームの賞金獲得の夢は彼女に託された。

なのは「良く考えてたら、私ずっとここを行ったり来たりしてる・・・」

ゲーム開始直後からゴーストヴィレッジを中心に行ったり来たりしている高町なのは。

なのは「移動したいけど、ハンターが居るからな・・・」

動きたくても、動けないようだ・・・。

牢獄deトーク

魔理沙「霊夢お疲れ」

霊夢「あ~~~~!!!!ムカつく!挟み撃ちなんて卑怯よ!」

織姫「まあまあ・・・、落ち着いてよ・・・」

ルイーザ「どんどんと捕まっていくな」

クツパ「ぬうつ・・・、不本意だな」

こなた「でもこれで霊夢達のチームは後1人になったね、一番最初に全滅になるかもね」

霊夢「あゝ、あり得るかも」

魔理沙・アリス「ちょっと！霊夢！」

プルルルル！プルルルル！

スバル「メールだ！」

佐助「ミッション3」

マリオ「『エリアの何処かに賞金リセット装置と賞金減額装置が設置された』リセットと減額!？」

セイバー「『残り時間60分になるまでにリセット装置を減額装置を解除しなければ』」

雨竜「『賞金は0から再スタートとなり、賞金も1秒毎に50円に減額される』なっ!」

アーチャー「リセットはともかく減額はつらいぞ」

ワリオ「リセットが解除されなかったら72万か」

幽香「減額が解除できなかったら90万円になるわけね」

はやて「両方あかんかったら18万円になるの!？あかんあかん！これは行く!」

ミッション3 賞金リセットと減額を防げ！

エリアの何処かにある賞金リセット装置と賞金減額装置が設置された。

残り時間60分になると、賞金は0から再スタートとなり1秒毎に50円に減額されてしまう。

リセット装置を解除することが出来れば90万円。

減額装置を解除できれば72万円

しかし、両方とも解除できなければ18万円に減額されてしまう。

さらにその場所は逃走者に伝わっていない、果たして逃走者達は装置を見つげ出す事ができるのか！

ミッション3 リセット装置と減額装置を解除せよ！ Part1 (前書き)

ミッション3 開始です！

ミッション3 リセット装置と減額装置を解除せよ！ part 1

ミッション3はリセット装置と減額装置を解除する事。

しかしその装置は逃走者に伝えていない。

装置の場所を印しているのは、タワークロックエリアにある入口の掲示板に印している。

逃走者達は装置を解除する事が出来るのか。

なのは「装置の数は1つなんだよね、多分・・・」

装置の数は各々1つずつ、装置の場所は入口の掲示板に印している。

かがみ「ここは遊園地だから、何処かに掲示板があるはず！」

はやて「ここは遊園地やからな、掲示板が何処かにはあるはずなんやけど・・・」

終かがみ、八神はやての2人は装置は掲示板に印している事に気付いた。

幽香「あら？綺麗な花ね」

唯一、東方Projectチームで残っている風見幽香。
彼女は今、フラワーガーデンに到着している。

幽香「綺麗ね・・・」

花の妖怪の彼女にとって、花畑は癒しの場・・・。

スバル「闇雲に探せば何時かは絶対に見つかる！」

現実的な考え方で装置を探すスバル。
そこに近づく黒い影・・・。

スバル「ここはジェットコースター近くか・・・」

ハンター「・・・！」

見つけた・・・。

スバル「もうちょっと向こうに行ってみよって！...うわあああ...！」

佐助「あらら、スバルちゃん追われてるよ……って！何で此方に
来てるの！？」

更にその先に居た猿飛佐助を巻き添えに……。
ハンターは視界に捉えた逃走者を機械的に追いかける。
ハンターの視界を捉えたのは……。

スバル「やっぱり私か〜！」

スバルだ……。

スバル「何でこうなるの〜！？」ポンッ

残り時間7分22秒 スバル・ナカジマ確保 残り15人リリカ
ルなのはチーム残り2人

スバル「はあ……はあ……なのはさん、八神部隊長……ごめ
んなさい……」

ブルルルル！ブルルルル！

一護「メールか、確保情報」

なのは「あつ！スバルが捕まった・・・」

はやて「あかんあかん！残ったの私となのはちゃんしかおらん、
まずいな」

佐助「危なかった、ハンターってあんな速かったのか・・・って
！マジかよ！」

ハンター「！」

猿飛佐助がハンターに見つかった。

佐助「速い！俺様より速い！」

更にもう1体のハンター・・・。

佐助「嘘だろ！？」ポンツ

忍でもハンターに勝てず・・・。

残り時間 69分53秒 猿飛佐助確保 残り14人 戦国BASARA
RATCHUM残り2人

「 佐助「俺様より速いなんて・・・ハンターって忍より速いとか・・・」

プルルルル！プルルルル！

雨竜「メールみたいだな」

幸村「なんと！佐助が捕まったでござる！」

マリオ「これで半分確保されたか・・・」

かがみ「あつた！掲示板！」

入口の掲示板を見つけた、終かがみ。

かがみ「えっと・・・リセット装置がフラワーガーデンで、減額装置がジェットコースターの付近にあるのね」

幽香「あら？見つけたわ」

リセット装置を見つけた風見幽香、しかし・・・。

幽香「レバーが2つあるわね・・・」

レバーが2つある、装置を止めるには2人同時にレバーを下ろさなくてはならない。

幽香「誰かが来るまで隠れておきましょう」

いそいそと隠れる、トップクラスの妖怪……。

一方、ジェットコースター付近にも逃走者の姿が……。

アーチャー「あつた……」

アーチャーだ……。

彼も減額装置に辿り着いた、そして此方も……。

アーチャー「レバーが2つあるな」

減額装置にもレバーが2つある……。

果たして逃走者達は装置を解除する事が出来るのか。

ミッション3 リセット装置と減額装置を解除せよ！ Part2 (前書き)

ミッション3 続きです！

ミッション3 リセット装置と減額装置を解除せよ！ part2

リセット装置と減額装置はそれぞれフラワーガーデンとジェットコースター付近に設置されている。

装置を動かすには2人同時にレバーを下ろさなくてはならない。

ミッション終了まで8分、間に合うのか。

かがみ「誰かに電話しないと！」

プルルルル！プルルルル！

つかさ「もしもし？」

かがみ「つかさ！私よ！」

つかさ「お姉ちゃん！」

かがみ「今何処に居るの!？」

つかさ「えっとね、スタートレインの近くに隠れてるよ」

かがみ「あのね聞いて、ジェットコースターの近くに減額装置があるのよ、行ってくれない？」

つかさ「ジェットコースターに？分かった！」

かがみ「助かったわ！じゃあ頼んだわよ！」ピッ

つかさ「ジェットコースター！」

姉の電話を聞き、ジェットコースターに行く妹。

はやて「あつた！掲示板や！」

掲示板を見つけた、八神はやて。

しかし、近くにハンターが接近……。

はやて「誰かが近くに……ハンターが居る！」

掲示板の陰に潜む、機動六課の部隊長……。

上手くやり過ぎたようだ……。

つかさ「あつた！誰か居る！」

減額装置を見つけた終つかさ。

そして偶々減額装置の近くに居た……。

アーチャー「此方だ！」

アーチャー……。

つかさ「良かった……」

アーチャー「いくぞ」

つかさ「うん！せーの！」

ガシャン！

減額装置 解除

つかさ「ふう……」

アーチャー「よし、ここから離れるぞ」

プルルル！プルルル！

なのは「もしもし?」

はやて「なのはちゃん!今何処に居るん?」

なのは「はやてちゃん、私ね今はゴーストヴィレッジに居るよ」

はやて「あちゃ〜そっちに居るんか・・・」

なのは「どうしたの?」

はやて「リセット装置な、フラワーガーデンにあんねん」

なのは「フラワーガーデンって・・・西側!？」

はやて「なのはちゃんに行って欲しかったけど・・・」

なのは「流石に距離があるから無理だよ・・・」

はやて「うつん気にしてへん、じゃあ他の人にかけてみる」

なのは「うん、ゴメンね」ピッ

はやて「誰が近くに居るんや・・・」

減額装置が解除されたため、残っているのはリセット装置のみとなった。

リセット装置がある西エリアに居るのは風見幽香、伊達政宗の2人。風見幽香は既にリセット装置を見つけ逃走者を待っている。

残り時間60分になると装置が作動され、賞金は再び0からのスタ

トとなる。
そうなった場合、賞金は半分の72万円（1人18万円）になってしまう。

政宗「shit！装置は何処にあるんだ！」

幽香「誰も来ないわね・・・」

はやて「誰に電話したらええんやろう・・・」

誰に電話をするか悩む八神はやて、もしフラワーガーデンの近くに居ない場合タイムロスとなってしまうためだ。

はやて「なのはちゃんは無理やからな・・・ここは一緒にミッシェンをクリアした・・・」

プルルルル！プルルルル！

政宗「hey！なんだ？」

はやて「政宗君？」

政宗「はやてか、どうしたんだ？」

はやて「今何処に居るん？」

政宗「いま装置を探してロードキャッスルエリアに居るぜ」

はやて「ロードキャッスルって・・・、西側や！政宗君！」

政宗「ん？どうした」

はやて「装置はロードキャッスルのフラワーガーデンにあるんや！
行ってくれへん!？」

政宗「Of course!分かったぜ！」

はやて「頼むでー!」ピッ

政宗「もし誰かいなかったらどうするんだ・・・まあ良い、これは
賭けだ！」

ミッション終了まで2分、政宗、間に合うのか！

ミッション3 リセット装置と減額装置を解除せよ！ Parts3 (前書き)

ミッション3 終了です！

ミッション3 リセット装置と減額装置を解除せよ！ part3

減額装置がアーチャーと柵つかさの活躍により、解除する事に成功。リセット装置があるのはタワークロックエリアのフラワーガーデンにある。

現在ミッションに向かってるのは伊達政宗のみ。

ミッション終了まで後2分、伊達政宗はミッションクリア出来るのか。

はやて「政宗君に賭けるしかないわ・・・」

スタッフ「もし政宗さんだけだったら？」

はやて「あっ！忘れてた・・・」

ミッションに動く逃走者達は装置の場所が何処なのか分からない。

プルルル！プルルル！

マリオ「もしもし」

はやて「マリオ君か？はやてやけど今何処に居るん？」

マリオ「はやてか！今はタワークロックエリアで装置があるか探してるんだ」

はやて「マリオ君！装置があるのはロードキャッスルのフラワーガーデンにあるんや！」

マリオ「なんだって！？不味い！後1分だ！」

はやて「今からダッシュで行ってくれへんか！？今政宗君に行かせてるから」

マリオ「分かった！」ピッ

マリオもフラワーガーデンに向かう！

政宗「やっと着いたぜ・・・」

政宗がフラワーガーデンに到着。

しかし誰も居ないことに気付く。

政宗「h a y！誰か居ないのか！」

誰か居るのが大声で叫ぶ。

幽香「此方よ！」

先に到着していた風見幽香と合流。

政宗「行くぜ、せーの！」

ガシャン！

リセット装置 解除

ミッションクリア

政宗「助かったぜ」

幽香「それにしても良くここだって分かったわね」

政宗「はやてに教えてもらった、幽香は？」

幽香「私は適当に歩いてたら見つけたわ」

プルルルル！プルルルル！

雨竜「ミッション結果だ」

みゆき「『減額装置はアーチャー、柊つかさの活躍で解除され』」

なのは「『リセット装置は伊達政宗、風見幽香の活躍で解除』」

ワリオ「『これにより逃げ切り賞金は144万円、1秒毎に200円のままとなった』おお！」

セイバー「私もミッションに動いたのですが、見つかりませんでした」

はやて「リセット装置に先客がいたんや！」

4人の活躍により、賞金は1秒毎に200円上昇、逃げ切れば144万円のままとなった。

118

牢獄 de トーク

魔理沙「幽香が働くなんてな〜」

こなた「後1人になったのに相当動くよね〜」

ルイージ「でもこなたのチームとても優秀だよ」

ルキア「まだ3人残って居るのだからな」

小十郎「このまま逃げ切って欲しいのだがな」

はやて「良かった、幽香ちゃんがフラワーガーデンに居ってんな」

情報提供に定評がある機動六課部隊長、八神はやて。
そのはやてにハンターが接近・・・。

はやて「次どんなミッションか気になるわ、取り敢えず移動・・・
うわあああ!!!」

ハンター「!」

見つかった・・・。

はやて「あかん、速い!速い!」

ポンッ

残り時間58分27秒 八神はやて確保 残り13人 リリカルな

のはチーム残り1人

はやて「無理や〜・・・早すぎるわ・・・」

機動六課部隊長・・・撃沈・・・。

ブルルルル！ブルルルル！

一護「『タワークロックエリアにて八神はやて確保』」

なのは「はやてちゃんが捕まった！残ってるの私1人だ・・・」

八神はやての確保により、リリカルなのはチームで残っているのは高町なのは1人。

みゆき「この辺りにハンターが居るかもしれませんが・・・」

未だ3人残っているらき すたチーム。

その1人高良みゆきはロードキャッスルエリアに到着していた。

しかしその近くに黒い影・・・。

みゆき「まずは状況を把握する事に集中・・・ハンターが！」

ハンター「・・・」

ハンターは気付いていないようだ。

しかし逃げた先にもハンター・・・。

みゆき「え！？」

ハンター「！」

今度は見つかった・・・。

高良みゆき、逃げ切れるのか！

嵐の前の静けさ（前書き）

この頃逃走中 テイルズオブの方ばかり投稿しています・・・。
今後こんな展開が予想すると思っています・・・。
ですが完結目指して頑張ります！

嵐の前の静けさ

ミッション3で賞金が減ると言う状況で見事にクリアした逃走者達。そんな中、高良みゆきがハンターに見つかった。果たして高良みゆきはハンターから逃げ切る事が出来るのか。

ハンターに見つかった。

みゆき「はあ・・・はあ・・・」

高良みゆき・・・。

其処へ現れたのは・・・。

かがみ「あれってみゆきじゃない・・・ハンターに追われてるって・・・何で此方に来てるの!？」

柊かがみだ・・・。

高良みゆきが柊かがみを巻き添えにした。

かがみ「何で味方チームを巻き添えにするのよ！」

みゆき「御免なさいかがみさん！」

更に其処に射たのは……。

政宗「幽香……フラワーガーデンに留まるのか……」

奥州筆頭、伊達政宗だ……。

政宗「ん？ハンターかよ！」

しかし、ハンターは柊かがみ、高良みゆきの2人を追いかける。

政宗「焦ったぜ……」

政宗は再びフラワーガーデンへと戻っていった……。

かがみ「も、もう駄目……」

みゆき「かがみさん！頑張ってください！」

かがみ「もう無理・・・みゆき、あんたは逃げて！あたしが囷になるから！」

そう言ったかがみはハンターの元に引き返した。

みゆき「かがみさん！」

かがみ「みゆき！逃げ切るのよ！」ポーン

残り時間5分47秒 柊かがみ確保 残り12人 らき すた子
ム残り2人

自分が犠牲となり高良みゆきを助けた。

かがみ「しょうがないよね・・・これは・・・。」

ブルルルル！ブルルルル！

幸村「むっ！」

一護「『タワークロックエリア、ステージ付近にて柊かがみ確保』」

つかさ「お姉ちゃん捕まった！ハンター怖いよ・・・。」

霊夢「言った途端にこれよ」

フエイト「どんどんと捕まっていく……」

こなた「かがみ……絶対にドジったでしょ」

ルキア「これで全チームが2人以下になったぞ」

はやて「この状況をどうやって踏ん張るか……」

マリオ「ここがいいな……」

キッズパークにやって来たマリオ……。

ここは先程までギルカマメッシュが隠れていた場所……。

マリオ「ここなら見つからない……」

英雄王と同じ所に隠れる、ミスターニンテンドー。

ワリオ「まだ脱落チームは居ないのか、根気の勝負だな……」

50:00 840,000

プルルル！プルルル！

ワリオ「何だ！？メールか！？」

メールだ・・・。

セイバー「『これより、残り時間45分、30分、15分になると1つずつエリアを封鎖される』」

なのは「『もし封鎖されたエリアにいた場合は強制失格となる』強制失格！？」

幸村「『強制失格になりたくなければ、エリアを移動せよ』」

つかさ「『まずはタワーロックエリアを封鎖する』」

幽香「『残り45分になるとエリアが封鎖される、封鎖されたエリアにいた場合、強制失格となる』」

ワリオ「タワーロックエリアって・・・ここじゃないか！」

みゆき「ここですね・・・移動しないと」

幸村「なんと！ここでじわるー！」

アーチャー「ここに居たのが仇となってしまうたか・・・」

今、タワークロックエリアに居るのはワリオ、高良みゆき、真田幸村、アーチャーの4人。

4人は残り45分になるとタワークロックエリアが封鎖され、強制失格になってしまう。

果たして4人はエリアを脱出する事が出来るのか。

ミッション4-1 エリアを脱出せよ！ タワークロックエリア編（前書き）

遂に更新できました！

ミッション4-1 エリアを脱出せよ！ タワークロックエリア編

ミッションでエリアが徐々に封鎖されていく。

残り時間45分になるとタワークロックエリアが封鎖されてしまう。

果たして逃走者達はエリアを脱出する事が出来るのか。

アーチャー「移動をしてきたのだが・・・仇となったか」

タワークロックエリアへとやって来たが、それが裏目になってしまったアーチャー。

直ぐ様移動を始める。

アーチャー「ハンターは居ないな、よし・・・」

ワリオ「くそ・・・移動しなきゃならないのか・・・」

同じくタワークロックエリアに留まっていたワリオ。

ワリオ「ここから移動かよ・・・」

そしてそのワリオの近くにハンターに接近……。

ワリオはハンターに気付いていない。

ハンター「！」

見つかった……。

ワリオ「今はハンター居ないな……今の内なら……ハンター来てるじゃねえか！」

足が極端に遅いワリオ、ハンターを振り切れるほどの力は全くなく……。

ワリオ「ぐおあああ！」ポント

残り時間 47分43秒 ワリオ確保 残り11人 スマブラチーム
残り1人

呆気なく確保された……。

ワリオ「くそ……。」

プルルルル！プルルルル！

なのは「メール・・・確保情報！」

マリオ「ワリオが確保されたか・・・」

一護「エリアが狭くなる上にハンターが7体だろ？これはヤバイんじゃないのか？」

アーチャー「何とか抜け出したか・・・」

タワークロックエリアを抜け出すことが出来たアーチャー。

幸村「危なかったでござる！」

更に真田幸村もタワークロックエリアを脱出成功。

アーチャー 真田幸村 ミッションクリア

みゆき「もう少しですね」

これでタワークロックエリアに残っているのは高良みゆき1人のみ。

残り時間45分になるとタワークロックエリアが封鎖されてしまい、高良みゆきは強制失格となってしまふ。

ミッション終了まで1分、高良みゆきは間に合うのか。

みゆき「あっ！見つけました・・・ハンター！」

脱出する直前、ハンターを見つけた高良みゆき。

ミッション終了、強制失格まで残り30秒。

みゆき「ハンターが居て身動きがとれません・・・」

タワークロックエリアを抜け出す為の出口に居るハンターのせいで、動く事が出来ない。

ミッション終了、強制失格まで残り10秒。

みゆき「早く・・・早く！」

10！

2
!

3
!

4
!

5
!

みゆき「今の内に！」

6
!

漸くハンターがタワークロックエリアを抜け出した。

7
!

8
!

9
!

みゆき「間に合って・・・きゃっ！」

ズテンツ！

1！

0！

タワークロックエリア封鎖・・・。

1人残された高良みゆきは強制失格となった・・・。

プルルルル！プルルルル！

なのは「メール結果！」

セイバー「『タワークロックエリアが封鎖された、これによりエリアに残された高良みゆきは強制失格』」

つかさ「ゆきちゃん！そんな・・・」

フェイト「高良みゆき強制失格！」

牢獄者「えええええっ！？」

こなた「みゆきさんが!？」

かがみ「強制失格!？」

みゆき「転んでしまいました・・・」

タワークロックエリア封鎖により、高良みゆき強制失格 残り10人
らき すたチーム残り1人

一護「どんどんと残り1人のチームが増えてきたな・・・」

マリオ「残ったのは後10人か・・・」

つかさ「うづうづう・・・残ってるの私だけになっちゃったよ・・・」

幽香「・・・良く考えていたら、私ここまで残ってるのね・・・足が遅いのに、意外だわ」

雨竜「次は何処のエリアが封鎖されるんだ？」

マリオ「ここだけは止めてくれ・・・」

政宗「そろそろ行くか・・・」

フラワーガーデンを再び出た独眼竜伊達政宗。

しかしその近くにハンター……。

政宗「ちっ……ハンターが居るな……」

いち早くハンターを見つけ、距離を離す伊達政宗。

しかし逃げた先にも、ハンター……。

ハンター「！」

見つかった……。

政宗「NO！此方もかよ！」

その様子を見ている……。

幽香「あら、政宗ね……あの様子からすると……捕まるわね」

風見幽香だ……。

政宗「うおおおお!!!」

ハンター「!」

更にもう1体・・・。

政宗「Shit!限界か!」ポンッ

残り時間42分34秒 伊達政宗確保 残り9人 戦国BASAR
Aチーム残り1人

政宗「ハンター・・・早すぎるだろ・・・」

独眼竜伊達政宗、ハンターにより討ち取られた・・・。

ブルルルル!ブルルルル!

一護「また確保情報かよ」

幸村「『伊達政宗確保』政宗殿——!!!」

小十郎「政宗様・・・」

佐助「後は旦那に任せるしか無いな」

はやて「でも、ここまででまだ脱落チームがまだ無いって皆優秀やな」

霊夢「言われてみれば・・・そうねまだ脱落チームは居ないわね」

ルキア「そろそろ何処かが脱落しそうだな」

そして・・・。

40:00 960,000

プルルル！プルルル！

雨竜「メールか・・・ミッション4-2」

幸村「『続いてはロードキャッスルエリアを封鎖する』」

セイバー「『残り30分になるとロードキャッスルエリアが封鎖されエリアに残っていた者は強制失格となる』」

幽香「ロードキャッスルエリアは・・・ここのような・・・行くしかないわね」

幸村「ぬづう・・・」じでいづるか・・・」

雨竜「しまった、ロードキャッスルエリアだ！脱出しないと」

ロードキャッスルエリアに居るのは風見幽香、真田幸村、石田雨竜の3人。

果たしてロードキャッスルエリアを脱出する事が出来るのか。

ミッション4-2 エリアを脱出せよ！ ロードキャッスルエリア編（前書き）

残り逃走者が少なくなってきました！

ミッション4-2 エリアを脱出せよ！ ロードキャッスルエリア編

タワークロックエリアが封鎖され、高良みゆきが強制失格となってしまった。

そして残り30分になると続いてロードキャッスルエリアが封鎖される。

該当しているのは風見幽香、真田幸村、石田雨竜の3人。

3人はロードキャッスルエリアを脱出しないと強制失格となってしまう。

果たして3人は脱出出来るのか。

幸村「早く抜け出さないと失格になってしまうぞい！」

エリアを脱出するため動く甲斐の若き虎、真田幸村。

雨竜「僕も移動するか・・・」

石田雨竜も移動を始める。

幽香「ここから出ないと・・・ちょっと名残惜しいけど・・・」

風見幽香もフラワーガーデンを後にする。

一方フォレストラウンジエリアのキッズパークに隠れている・・・。

マリオ「ここに居れば絶対に見つからない・・・」

ミスターニンテンドー、マリオ・・・。

そのマリオにハンターが接近。

マリオ「絶対に見つからない！逃げ切つてやる！」

ハンターがキッズパーク内に侵入した。

マリオ「やばい！ハンターが来てる！」

ハンターを見つけたマリオ、しかしキッズパーク内の出口は1つだけの為、動く事が出来ない。

マリオ「ちっ……一か八か賭けるしか……」

ハンターがマリオと別の方向を向いている間に逃げるしかない。

マリオ「向こうを向いた！今だ！」

ハンター「！」

マリオ「逃げ切ってやる！」

しかし逃げた先にもハンター……。

マリオ「はぁ！？有り得ねえって！」

しかし、驚異のフットワークでハンターから逃げるミスターニンテンドー。

しかし更にもう1体のハンター……。

マリオ「しまった！」

万事休す……。

マリオ「くそ~~~~!!!!」ポント

遂に脱落チームが出てしまった・・・。

残り時間36分58秒　マリオ確保　残り8人　スマッシュブラザーズチーム全滅

マリオ「ハンターが多すぎる・・・」

プルルルル！プルルルル！

つかさ「メールだ」

アーチャー「確保情報か」

幽香「『フォレストラウンジエリアにてマリオ確保、残り8人』」

一護「『また、マリオが確保されたため、スマッシュブラザーズチームが全員確保』」

フェイト「『よって、スマッシュブラザーズチームの脱落決定した』」

スマブラチームメンバー「うわあああ!!!!」

クッパ「マリオは何をやっているのだ！」

スバル「遂に脱落チームが出ちゃったね」

こなた「そうだね、さて次の脱落チームは何処だろうね」

魔理沙「良く考えてみると・・・幽香は何処に居るんだろうな」

アリス「そうね、幽香は何処に居るの？」

政宗「幽香は確かロードキャッスルエリアのフラワーガーデンに居た筈だぜ」

霊夢「フラワーガーデンね・・・幽香が居そうだわ・・・」

ランサー「けどよ、今はロードキャッスルエリアは封鎖されるんだろ？今は移動してるんじゃないかねえか？」

魔理沙「どうだろうな・・・幽香は足が遅いからな」

ロードキャッスルエリアを脱出しようとしている・・・。

幽香「まだ見えないかしら」

足の遅い女・・・。

幽香「ハンターが居るわ・・・」

ハンターを見つけた幽香。

ミッション終了 強制失格まで残り3分

幽香「向こうに行ったわね・・・」

ハンターとの距離を取りながら、エリアを脱出する。

雨竜「よし！何とか抜け出せた！」

幸村「助かったでござる！」

その間に石田雨竜、真田幸村の2人は脱出成功した。

石田雨竜 真田幸村 ミッションクリア

幽香「足がパンパンになりそうね」

これで、エリアに居るのは風見幽香のみとなった。

もし風見幽香が強制失格となった場合、東方Projectチームは全滅となってしまふ。

幽香「見えてきたわ、彼処ね」

ロードキャッスルエリアを脱出するための出口を見つけた風見幽香。

ミッション終了 強制失格まで残り1分

幽香「もうちょっと・・・ふう・・・」

風見幽香 ミッションクリア

そして、ロードキャッスルエリアが封鎖された。

プルルル！プルルル！

セイバー「来ましたね、ミッション結果」

一護「ロードキャッスルエリアが封鎖された、強制失格はなし」

なのは「あつ！良かった！3人とも脱出出来たんだ」

アーチャー「エリアが狭くなったな・・・移動するか・・・」

エリアが狭くなり動き始めたアーチャー。

しかし近くにハンター……。

アーチャー「まだ私達のチームは2人だからな……逃げ切れるだろう」

ハンター「……！」

見つかった……。

アーチャー「この辺りは迷路だな……言っている傍からか！」ポ
ンッ

不意討ちだ……。

残り33分46秒 アーチャー確保 残り7人 Fate/sta
ynightチーム残り1人

アーチャー「くっ……不覚だな……」

プルルルル！プルルルル！

幸村「確保情報でござる」

セイバー「アーチャーが確保されましたか」

フェイト「アーチャー確保！」

牢獄者「うわあああ！！！」

かがみ「どんどん減っていくわね！」

はやて「そろそろ次の脱落チームが決定しそうやな」

一護「俺達のチーム以外は皆1人か・・・」

雨竜「はあ・・・はあ・・・ここまで何とか逃げれているな・・・」

現在残る逃走者は7人、チームは6チーム。

BLEACHチーム以外の逃走者達は確保されてしまうと、その時点でチームは脱落してしまう。

そして、ハンターの数も同じ7体。

ハンターに確保されればその時点で失格、4人全員が確保されれば、賞金は0。

なのは「次はどっちだろう・・・」

エリアの封鎖はメールが来るまで分からない。

つかさ「今幾らかな？90分経ったから・・・108万円だく・・・
自首したいよ」

チームが後1人になった時、自首をする事が出来る。

エリアにある自首用電話から申告すれば、その時点での賞金を獲得
でき、ゲームからリタイアとなる。

自首用電話があるのはフォレストラウンジエリアの1つのみ。

しかしハンターに確保されればその時点で失格、賞金も0となる。

幸村「ここは何処でござるか・・・」

迷子になった若き虎・・・。

その若き虎にハンターが接近・・・。

幸村「むっ！ハンターでござるー！」

ハンター「……」

どうやらハンターは幸村に気付いていないようだ。

幸村「はぁ……はぁ……気付いていないのか？」

なのは「ここなら安心かな」

エリアの間の橋に移動した高町なのは。

そこに……。

25:00 1,140,000

プルルル！プルルル！

メールだ……。

なのは「来た！ミッション4 3」

幸村「『続いてはフォレストラウンジエリアを封鎖する』」

つかさ「『残り15分になるとフォレストラウンジエリアが封鎖され、封鎖されたエリアに居た場合は強制失格となる』」

一護「フォレストラウンジエリアって・・・ここかよ！マズイ！急がねえと！」

セイバー「しまった・・・ここか・・・」

なのは「向こうに行かなきゃいけないんだ」

エリアの間の橋に移動してきた、高町なのは。

なのは「移動してきて良かった」

楽々とクリア。

高町なのは ミッションクリア。

現在フォレストラウンジエリアに居るのは黒崎一護とセイバーの2人。

果たして2人はエリアを脱出できるのか。

ミッション4-3 エリアを脱出せよ！ フォレストラウンジエリア編（前書き

ミッション4 終了です！

ミッション4-3 エリアを脱出せよ！ フォレストラウンジエリア編

残り時間は25分を切り、残る逃走者は7人。

そして残り15分になるとフォレストラウンジエリアが封鎖され、エリアに居た者は強制失格になる。

現在エリアに居るのは、黒崎一護とセイバーの2人。

更に自首用電話がフォレストラウンジエリアに有るため、封鎖されてしまうと自首をする事が出来ない。

危険を犯しエリアを脱出するか目の前の賞金を手に入れる為に自首を行うか、それは逃走者の自由だ。

果たして2人はエリアを脱出できるのか。

一護「ヤバイな・・・自首をしたいが・・・無理だからな・・・」

BLEACHチームは残り2人の為、自首をする事が出来ない。

一護「ハンターか！くそ！身動きが取れないな・・・」

セイバー「自首は・・・しません、もし自首をすれば何故か罪悪感があるかもしれませんから」

セイバーは自首をしないようだ。

雨竜「ジェットコースターや機関車、それに観覧車か・・・」

レインボースカイマウンテンエリアを見回っている、石田雨竜。

しかし其処に現れる黒い影・・・。

雨竜「向こうに行ってみるか」

ハンター「・・・」

偶然ハンターから離れたようだ。

雨竜「まだ7人が・・・」

運のいい男・・・。

一護「あちこちにハンターが居やがる・・・向こうにも居る!」

一護がハンターを見つけた。

いち早く気付き、ハンターとの距離を広げる。

しかし逃げた先にも別のハンター……。

ハンター「！」

一護「何……だと!?!」

見つかった……。

ミッション終了 強制失格まで残り5分

一護「うおおおお!!!!」

セイバー「今の声は……」

黒崎一護の姿を目撃したセイバーはその隙にエリア脱出を謀る。

一護「体力なら負けねえぞ！」

迷路に入った黒崎一護、どうやら迷路の中で振り切る作戦のようだ。

セイバー「どうやらこの様ですね」

セイバーがエリアを脱出する事に成功した。

セイバー ミッションクリア

一護「うおおお!!!!負けるかああ!!!!」

迷路を最大限に利用し上手く振り切った。

一護「はぁ・・・はぁ・・・後何分だ・・・3分かよ!」

ミッション終了 強制失格まで残り3分

黒崎一護、間に合うか!

一護「ここまで来たんだ!絶対に逃げ切ってやる!」

急いでエリアを脱出に向かう、黒崎一護。

しかし其処にハンターが接近……。

一護「何……だと……」

ハンター「！」

見つかった……。

一護「こんな処で捕まっていたまるか！」

しかし逃げた先にも別のハンター……。

一護「嘘だろ!？」

挟み撃ちだ……。

一護「うおお！」ポンッ

エリア脱出まで僅か50メートルで確保……。

残り16分24秒 黒崎一護確保 残り6人 BLEACHチーム
残り1人

一護「はあ・・・はあ・・・何であんなに速いんだよ！」

プルルルル！プルルルル！

つかさ「あっ！メールだ！」

幽香「『黒崎一護確保、残り6人』」

雨竜「何をやっているんだ！黒崎は！」

なのは「これで全チーム1人ずつになった！ここからが本当の勝負だね！」

そしてフォレストラウンジエリアが封鎖された。

これにより自首が不可能となった。

更にこの後、驚愕のミッションが待ち構えている！

14:00 1,272,000

プルルルル！プルルルル！

つかさ「えっ！？何？メール？」

メールだ……。

セイバー「来ましたね、ミッション5」

なのは「観覧車の中にハンターが設置されている」観覧車？」

雨竜「残り10分になるとハンターが放出される」

幽香「更に1分毎にエリアにハンターが放出され続ける」放出され続ける!？」

幸村「放出を止めるためには、観覧車の前にあるレバーを3人同時に下ろさなければならぬ」3人同時でござるか!？」

つかさ「ハンターが放出され続けるなんて……」

雨竜「最大で何体が増えるんだ?17体!？」

ミッション5 観覧車を止めろ!

現在、観覧車の中にハンターが待機している。

残り10分になるとハンターがエリアに放出される。

更に1分毎にハンターがエリアに放出され続ける。

放出を止めるには観覧車前にあるレバーを3人同時に下ろさなければならぬ。

なのは「行きます、ハンターが増えなければ何とかなりそう」

雨竜「結構近いな・・・行くか」

幸村「某も行くでござる！観覧車はどっちでござるか！？」

幽香「行きましようか、流石の私でもこれは危ういわ」

セイバー「観覧車に向かいますよう」

ミッションに向かうのは、高町なのは、石田雨竜、真田幸村、風見幽香、セイバーの5人。

ハンターが増え続けるミッション、果たして逃走者達はハンター放出を食い止める事ができるのか。

ミッション5 観覧車を止める！ part1 (前書き)

ミッション5スタートです！

ミッション5 観覧車を止める！ part 1

残り10分になるとハンターがエリアに放出され、更に1分毎にハンターが放出され続ける。

放出を止めるには観覧車前にあるレバーを3人同時に下ろさなければならぬ。

残る逃走者は6人、ハンターは7体。

もし観覧車前にあるレバーを下ろさなければ、ゲーム終了までハンターは増え続ける。

果たして逃走者達はハンター放出を防ぐ事ができるのか。

雨竜「観覧車は向こうだな」

観覧車を目指して移動する石田雨竜。

セイバー「ウリュウ、貴方もミッションに行きますか」

雨竜「セイバーか・・・ああ、僕も観覧車に行こうとしているんだ」

其処にセイバーが合流。

セイバー「私も行きます、共にクリアしましょう」

雨竜「ああ、分かった」

共にミッションに挑む、これで後1人居れば、ミッションクリアするための人数が揃う。

なのは「幽香ちゃん！こっちこっち！」

幽香「なのは！」

高町なのはと風見幽香もミッションクリアを目指す。

しかし、目の前にハンター……。

幽香「なのは！ハンター！ハンターが居るわよ！」

なのは「えっ！？ホントだ！」

いち早く気づいた2人はハンターとの距離を広げる。

ハンター「……」

ハンターは気づいていないようだ。

さらに2人は別れてしまった。

なのは「幽香ちゃんと逸れちゃった……」

幽香「このミッション止めようかしら……でもハンターが増えたら逃げられなくなるし……」

幸村「観覧車はどこでござるか!」

真田幸村もミッションをクリアするため観覧車を目指す。

つかさ「ハンターが怖いから行けないよ……」

ベンチの下に隠れるつかさ、実は観覧車が一番近いのは彼女である。

つかさ「ここはどこだろう……全然分らないよ……」

しかし、気づかない……。

そして、ハンター放出まで1分を切った。

このままハンターが放出され続ければ最大で17体になってしまう。

セイバー「最初のハンターが放出されるまで1分を切っています」

雨竜「そうか……ここは1体は放出させた方が良く、もし行って放出されたら捕まってしまうからな」

幸村「ハンターが放出されるでござる！」

なのは「1体目が……」

1体目のハンター放出まで、3……2……1……

ハンター「……」

ハンター1体目放出 合計8体

雨竜「1体目は仕方がない……よし！行こう！」

セイバー「ハンターは向こうに行きましたね、行動しましょう」

しかし、2人の後ろにハンター……。

セイバー「ここで良いですよね」

雨竜「ああ、そうだな」

ハンター「！」

見つかった……。

雨竜「後1人が……セイバー！ハンターだ！」

セイバー「なっ！何時の間に居たのか！」

ハンターの標的となったのは……。

セイバー「くっ！私か！」

セイバーだ……。

セイバー「そんな！ハンターが速すぎる！」

懸命に逃げるものの、徐々に近づくハンター……。

さらに目の前には先程放出された、ハンター……。

ハンター？「！」

セイバー「なっ！しまった！」

ポンッ

雨竜「はあ……はあ……、セイバーはどうなった!？」

残り9分36秒 セイバー確保 残り5人 Fate/stayn
i g h t チーム全滅

セイバー「捕まってしまいましたか……、もう10分を切っているのに……」

プルルルル！プルルルル！

幸村「なっ！」

つかさ「誰か捕まった!？」

フェイト「セイバー確保！」

牢獄の者達「うわあああ!!!」

ランサー「ちょっと待て!セイバーが確保されたっつー事は……」

アーチャー「私達のチームは全滅と言う事だ」

ランサー「何だと!?マジかよ……」

かがみ「つかさ……大丈夫かしら……」

こなた「どうだろうね……」

つかさ「怖いよ……もう普通の生活を送ってる人達の中で私しか残ってないよ……」

なのは「早く観覧車を止めないと……」

10年前まで普通の生活を送っていた女……。

現在、残る逃走者は5人、対してハンターは8体。

果たして観覧車を止めることができるのか。

ミッション5 観覧車を止める！ part2 (前書き)

遅くなってしまいました！ミッション5終了です！

ミッション5 観覧車を止める！ part 2

残り時間は10分を切り、残る逃走者は5人。

そしてハンターの数は合計8体となっている。

現在、ミッション5が進行中。

その内容は、観覧車を停止すること。

停止するためには、3人同時にレバーを下ろさなくてはならない。

更に観覧車が停止するまで、ハンターは増え続け、最大で17体と
なってしまう。

果たして逃走者達は観覧車を停止させることが出来るのか。

幽香「そろそろ2体目のハンターが出てくる頃かしら」

なのは「はあ・・・はあ・・・もうダメ・・・またハンターを見つ
けた・・・もう遊園地がハンターだらけになってるよ」

雨竜「くっ！またハンターが放出される！」

幸村「早く観覧車の場に向かわなければ！再びハンターが出てしま

うでいぢるー!」

2体目放出まで10秒前

つかさ「まだミッションクリア出来ないのかな・・・私、怖くなつてきちゃったよ」

ガシャン!

ハンター「・・・」

ハンター2体目放出、合計9体

雨竜「よし!今だ!」

ハンターが放出されたと同時に観覧車へと向かう石田雨竜。

更にその石田を見つけたのは・・・。

つかさ「さっきのって・・・石田くん?もしかしてミッションなのかな?私もちよっと怖いけど行こう、もし近くだったら嬉しいし」

柗つかさもミッションに動いた。

残る逃走者もミッションをクリアするため、観覧車を目指す。

幸村「観覧車！観覧車は何処にあるでござるか！」

つかさ「石田くん！」

雨竜「柗さん！良かった、無事だったのか！」

つかさ「うん！石田くんも無事で良かった！」

石田雨竜、柗つかさが観覧車に到着、ここで残る1人を待つ。

なのは「此方は行ったかな？もしかしたら観覧車があるかもしれない！」

幽香「なのはが観覧車に向かっているかも・・・電話を試してみようかしら・・・」

携帯電話を手に取った風見幽香、しかし・・・。

幽香「・・・止めておこうかしら、もし電話をしてハンターに見つかったらただ事じゃないからね・・・」

一方、観覧車に居る石田雨竜と柗つかさはと言つと……。

雨竜「不味いな……3体目のハンター放出まで20秒を切つてい
る」

つかさ「嘘！じゃあ早く何処かに隠れないと！」

2人は三度、観覧車から離れ、ハンターが出てくるのを待つことに
した。

3体目放出まで10秒前

幸村「うおおおお……！観覧車は何処でござるかあああ……！」

ガシャン！

ハンター「……」

ハンター3体目放出、合計10体

雨竜「よし！ハンターが離れた！柗さん、観覧車へ急ごう！」

つかさ「うん！分かった！」

石田雨竜、柗つかさが観覧車に向かう途中……。

なのは「あっ！観覧車！」

高町なのはと合流。

つかさ「なのはさん！」

雨竜「高町さん！観覧車に行きましょう！もう時間がありません！」

なのは「うん！分かった！」

これでミッションクリアに必要な人数が揃った。

3人は観覧車へと向かい、レバーを下ろし、観覧車を停止させなければならぬ。

つかさ「あつた！観覧車！」

雨竜「良かった！間に合ったか！」

なのは「だいぶハンターが出ちゃったけど・・・行くよ!」

3人「せーの!」

ガシャン!

3人がレバーを下ろしたと同時に、観覧車の機能が停止した。

なのは「止まった?」

雨竜「止まってる!」

つかさ「やった〜!止まった!よかった〜」

プルルルル!プルルルル!

幽香「ミッション5結果ね・・・」ミッション5結果、高町なのは、石田雨竜、柊つかさの活躍によって観覧車が停止された」

幸村「『しかし、ハンターが3体増え、合計10体となった』観覧車・・・見つからなかったでござる!」

牢獄Deトーク

こなた「つかさ凄いな〜ミッションクリアしたんだもん」

一護「石田がミッションに参加してるのが気に入らねえが・・・チームだからしょうがねえか」

マリオ「ここまで残った人達は相当な行動力の持ち主だな」

アリス「1人は妖怪だけだね」

かがみ「しかもつかさは普通の女の子なのよね」

政宗「真田幸村！ハンターに捕まったら承知しねえからな！」

セイバー「誰が残るか・・・」

一護「残り時間は10分を切った、そろそろ誰かが捕まるな」

牢獄Deトーク終了

雨竜「後・・・8分を切った！ここまで残ったんだ！絶対に逃げ切る！」

なのは「後5人だよね・・・つかさちゃんに幸村君、幽香ちゃんと雨竜君、そして私の5人だけ・・・でも勝つのは私だよ！」

幽香「最初は私1人だけで一時はどうなるかと思ったけど・・・ここまで来たならチームに賞金を捧げた方が良かったわね」

幸村「ここまで某が残るとは思ってたでござる、必ず賞金を手に入れて甘味を沢山食べるでござる！」

つかさ「残った中で1番力とか無いけど、逃げ切る自信があるんだ、どうしてかは知らないけど・・・逃げ切りたいと思ってる！」

それぞれの意気込みが感じられた。

残り時間は7分30秒、果たして逃走成功者は現れるのか！

ミッション5 観覧車を止める！ part 2 (後書き)

残り時間が7分30秒で逃走者は5人に対しハンターが10体とな
っている。

果たして残るのは誰なのか！

ゲーム終了!?(前書き)

ゲームは終了です!

ゲーム終了!?

残る逃走者は真田幸村、高町なのは、柗つかさ、風見幽香、石田雨竜の5人。

残り時間は7分30秒、ハンターは10体となっている。

果たして逃走者達は、ハンターの視界を掻い潜り、逃走成功なるのか!

つかさ「あっ!ハンターだ……どうしよう……」

ハンターを見つけ、隠れる柗つかさ。

残り時間は7分を切った。

ここで確保されれば、ここまで貯めてきた賞金を全て失ってしまう。

つかさ「行って!向こうに行って……」

ハンター「……」

上手くやり過ごした様だ。

命拾いの普通の高校生……。

つかさ「怖いよ……助けて……お姉ちゃん……」

幽香「向こうに居るわね……」

風見幽香もハンターを見つけた。

幽香「足が遅いから……見つかったら万事休すなのよね……」

その風見幽香の近くに……。

なのは「幽香ちゃん、ここに居たんだ」

高町なのはが合流。

幽香「なのは、ミッションクリアに貢献したそうじゃない」

なのは「何とかなったけど……ハンターが増えすぎちゃった」

現在ハンターの数は10体となっている。

雨竜「ここだと見つかりにくそうだ」

丁度いい隠れ場所を見つけた石田雨竜。

雨竜「ジェットコースター辺りなら見つかる可能性が少ない・・・
多分だけど・・・」

ゲーム終了まで残り5分

幸村「むっ!」

真田幸村がいち早くハンターに気付き、距離を離す。

幸村「正に・・・絶対絶命でござるな・・・、それにしても・・・
後残り時間は何分でござるか？」

なのは「またハンターが居る!これじゃ移動が出来ないよ・・・」

つかさ「何でこんなにハンターが居るんだろう・・・」

徐々に逃走者を追い詰める10体のハンター。

ハンター「！」

ハンターが逃走者を見つけた……。

見つかったのは……。

雨竜「しまった！」

石田雨竜だ……。

雨竜「距離はある、体力的には厳しいが、振り切って見せる！」

しかし、もう1体のハンターが石田雨竜を捉えた。

もう1体のハンターに気付いた石田雨竜は別の道へと逃げ込む。

雨竜「くっ！流石に速いな！って！しまった！」

足を躓いてしまった、石田雨竜。

勿論、それを見逃すほど、ハンターは甘くない。

雨竜「ここまでか！」

ポンッ

残り時間3分8秒 石田雨竜確保 残り4人 BLEACHチーム
全滅

雨竜「くっ……まさか足を躓いてしまうとは……不覚だった……」

プルルルル！プルルルル！
ゲーム終了まで残り3分

なのは「メールだ！」

幸村「確保情報でござるか！？」

フェイト「石田雨竜確保！」

牢獄の逃走者「うわあああ!!!」

一護「おい石田!何捕まってるんだよ!」

マリオ「残り3分を切ったぞ!」

ランサー「誰でも良いから逃げ切りやがれ!」

現在、残っている逃走者は。

つかさ「後・・・3分・・・逃げ切りたい!」

癒し系天然の高校生、終つかさ

なのは「もうちょっとかな・・・」

機動六課のエースオブエース、高町なのは

幸村「むっ!後少しでござる!」

甲斐が誇る若き虎、真田幸村

幽香「そろそろ終わってくれないかしら・・・」

幻想郷トップクラスの妖怪、風見幽香

逃走者はこの4人となっている。

逃げ切れば賞金144万円、確保されれば賞金は0・・・。

つかさ「1分30秒！」

幸村「もうすぐでござる！」

幽香「ハンターが居るわね・・・1分30秒を切ったわね・・・」

なのは「ここで捕まったら、賞金が全部失ってしまうから・・・気が抜けない・・・」

ゲーム終了まで残り1分

織姫「1分切ったよ！」

アーチャー「何人残っている？」

クツパ「4人が残っているな」

はやて「4人も居るんか〜、流石やな〜」

霊夢「30秒よ!」

マリオ「皆!カウントダウンするぞ!」

20!

19!

なのは「18・・・17・・・」

つかさ「16・・・15・・・」

幸村「14・・・13・・・」

幽香「12・・・11・・・」

10!

9!

8!

7！

6！

なのは「5！」

つかさ「4！」

幸村「3！」

幽香「2！」

1！

0！

つかさ「やっ……た……た……やっ……た……やっ……たよー！」

幸村「うおおおお……！……やりましたぞ……！……おやかたさまあああああ
ああ……！……！」

幽香「ふう……疲れたわね……まあ、何とかなつたわね」

なのは「やった！逃げ切った！皆！私やったよ！」

柊つかさ 真田幸村 風見幽香 高町なのは 逃走成功144万円
獲得

フェイト「4人が逃走成功！」

牢獄の逃走者「うおおお！！！」

しかし……。

プルルルル！プルルルル！

1通のメールが……。

幽香「あら？メール？」

なのは「何でメールが……」

つかさ「取り敢えず読もう！『4人の逃走者諸君、逃走成功おめで
とう！しかし……ゲームはまだ終わっていない！』えっ！？何！
？」

幸村「むっ！まだ続きがあるでござる！『これより、4人には延長

戦で再び逃走してもらおう』なっ！延長戦!？」

フエイト「『なお、これは強制的に行う、最後まで残った者に賞金を与える』」

かがみ「もしかして最後の1人になるまでエンドレス!？」

フエイト「でも、まだ続きがあるよ』逃走者がずっと隠れているのは終わるのに時間がかかるので、ハンターに変装し、通報役として牢獄の逃走者になってもらおう、なお、決めるのはくじ引きで行う』」

マリオ「くじ引き?」

そう言うと、2人のハンターがくじの入った箱とハンターの服一式を持って現れた。

アリス「誰がくじ引きを引くの?」

佐助「赤の旦那が引けば良いんじゃない?」

マリオ「赤の旦那って俺の事か?まあ良いけど・・・」

マリオがくじ引きを引くこととなった。

マリオ「行くぞー!せーのー!おりゃー!」

マリオが引いた名前は……。

ルイージ「兄さん！誰が通報役になったの？」

マリオ「言うぞ……通報役になったのは！」

牢獄の逃走者「……」

マリオ「『フェイト・T・ハラウン！』」

フェイト「えっ！？私！？」

はやて「やったやん！まさかフェイトちゃんが通報役か？」

フェイト・T・ハラオウンが通報役として釈放された。

なお逃走者達は誰が通報役なのか知らない。

フェイト「ピッタリ・・・」

スバル「フェイトさん！似合ってますよ！」

こなた「まさかカツラやサラシとか用意されてるなんて・・・」

フェイト「まあ、私としては嬉しいかな、全くゲームに参加出来なかったから・・・」

みゆき「それではフェイトさん、宜しく願いしますね」

そして4人の逃走者も準備を終えたようだ。

これより、最後の1人になるまでのサバイバルが幕を開ける！

幽香「5・・・」

なのは「4・・・」

幸村「3・・・」

つかさ「2・・・」

フェイト「1・・・」

0！

再び動き出した、10体のハンター！。

賞金を獲得出来るのは、4人の中の最後まで残った1人のみ。

果たして誰が賞金を獲得出来るのか！

ゲーム終了！？（後書き）

逃走中延長戦が始まりました。

果たして最後まで残るのは誰なのか！

延長戦！残り4人！（前書き）

延長戦スタートです！

延長戦！残り4人！

突如始まった延長戦、最後の1人になるまで終わらないサドンデス方式となっている。

現在残っている逃走者は4人に対し、ハンターは10体となっている。

更にハンターの姿になったフェイトが通報役として逃走者を探している。

果たして最後まで残るのは誰になるのか。

そして賞金144万円（1人辺り36万円）を獲得出来るのは……。

フェイト「楽しみ〜、まさかこう言う風にゲームを楽しむなんて思わなかったな〜」

初めて本格的に参加したフェイト、やる気は充分のようだ。

フェイト「ハンターばかりだな〜、まさかハンターが味方になるなんて思わなかった、しかも延長戦で参加できたから……残って

る人達には悪いけど、鬱憤張らして通報するよ！」

今まで牢獄に居たため、ストレスが溜まっているようだ。

なのは「通報役って誰か分からないの？一体誰なんだろう・・・えっ？ハンターの格好をしているから見分けはつかない？」

逃走者達は通報役は誰なのか伝えられていない。

まさか、高町なのはの大的友達であるフェイトであることも彼女は分からない。

幽香「向こうにハンターが居るわね・・・しかも最後の1人になるまでサドundesで逃げるなんて・・・逃げるのは好きじゃないけど・・・」

幸村「通報役と言うのは某の世界では間者と言います！しかし・・・誰が通報役なのか・・・分かりませぬ・・・」

つかさ「誰が通報役だろう・・・ハンターの服装をしてるんでしょ？見分けがつかないと・・・分からないよ・・・」

ハンターの数は一〇体、そしてハンターに変装している通報役フェイト・T・ハラオウンの通報を交わし、見事チームに歓喜の賞金を獲得するのは、どのチームなのか。

フェイト「あっ！向こうに誰か居る……」

フェイトが逃走者を見つけた。その逃走者は……。

幽香「あれハンターよね……此方に来そうだから逃げないと……」

風見幽香だ……。

フェイト「これで通報すれば良いんだね……」

携帯を取り出したフェイト。

フェイト「もしもし、通報役のフェイトです、観覧車付近に逃走者を見つけました」

フエイトの通報を受けたハンターが、観覧車付近に居る逃走者を確保するために動き出す。

幽香「まだ見つかってないわよね・・・もうちょっと向こうに行っ
た方が良いわ」

標的となったのは、風見幽香だ・・・。

ハンター「！」

幽香「嘘！何で!？」

見つかった・・・。

幽香「逃げないと！」

しかしもう1体のハンター・・・。

幽香「しまった！」

ポンッ

延長時間4分37秒 風見幽香確保 残り3人 東方Project
チーム全滅

幽香「足の遅さがネックだったわ・・・」

ブルルルル！ブルルルル！

幸村「むっ！メールでござるか！」

つかさ「誰か捕まった？」

なのは「えっ！？『通報役の通報により、風見幽香確保 残り3人』
通報役・・・一体誰！？」

マリオ「『通報役の通報により風見幽香確保』」

はやて「フェイトちゃん怖いわ！」

霊夢「よっぱどストレスが溜まっていたのね」

魔理沙「幽香が確保されたから、私達のチームは全滅か」

アリス「良く考えてみたら、中盤から幽香1人で頑張ってたのよね・
・・・」

ルキア「貴様達はチームワークと言うものは無いのか」

霊・魔・ア「無いわ(ぜ)(わね)」

政宗「おいおい・・・」

なのは「幽香ちゃんが確保されたから残ってるのって・・・」

幸村「某、ここまで残れるとは思わなかったでござる」

つかさ「移動出来ないから、ここに居た方が多分見つからない・・・」

残る逃走者は高町なのは、真田幸村、終つかさの3人となった。

3人の逃走者に対しハンターは10体、更にハンターに変装した通報役のフェイト・T・ハラオウンが逃走者達を搜索している。

果たして最後まで残るのは誰になるのか！

延長戦！残り3人！（前書き）

今回は短いです。

延長戦の続きです！

延長戦！残り3人！

通報役フェイトの通報によって、風見幽香が確保された。

残る逃走者は3人、ハンターは10体。

賞金を獲得出来るのは最後まで残った1人の逃走者のみ。

果たして最後まで残れるのは誰なのか……。

牢獄deトーク

霊夢「幽香お疲れ〜」

クツパ「惜しかったな」

幽香「通報役にやられちゃったわ……それで通報役はどっいっ風に決まったの？」

セイバー「マリオがくじ引きを引きました」

小十郎「それにしても延長戦にまでもつれ込むとはな……」

幽香「それで、通報役は誰なの？」

こなた「幽香さん、それ言ったら絶対その人に何かしそつだから止めたげて！」

幽香「あら、私は何も苛めるとは言っていないわよ、ただお話ししたいただけだから・・・ウフフ・・・」

スバル「何だろう・・・急に寒気を感じた・・・」

現在エリアには、10体のハンターと通報役としてハンターに変装しているフェイトが逃走者を追い詰めていく。

残っている逃走者は僅か3人、賞金を獲得出来るのは最後まで残った1人のみ。

フェイト「居ないなあ・・・」

ハンターに変装しているフェイトが辺りを見渡す、そこに居たのは・・・。

なのは「ハンター！ハンターが居る！」

高町なのはだ・・・。

フエイト「向こうに行ってみようかな？」

なのは「早く行って！」

どうやらやり過ぎたようだ。

命拾いのエースオブエース。

なのは「怖かった〜・・・」

つかさ「あっ！ハンターが居る！」

らき すたチーム、柊つかさ。

癒し系天然の女子高生の彼女はハンターに怯えていた。

つかさ「早く終わらないかな・・・でも、大丈夫なのかな・・・私
見たいな普通の女の子が残って・・・」

意外な人物が逃走中を制するのも逃走中の醍醐味だ。

幸村「ぬう・・・ハンターが多すぎてござる・・・しかし、某に
も意地と言つものがあるでござるから、負けるわけにはいかぬ！」

戦国BASARAチーム、真田幸村。

戦国武将の中でも勇将と称した男が逃走中で天下統一を目指す。

幸村「またハンターでござるか！」

フェイト「うん・・・見つからないな・・・残ってる逃走者達は凄いな・・・」

つかさ「大丈夫かな？ここは危険だから移動した方が良いかな・・・」

意を決した終つかさは移動する事を選んだ。

つかさ「居ない・・・大丈夫！行けるかな？近いのは・・・電車の所かな？行こう！」

移動を始めた終つかさ、しかし・・・。

ハンター「！」

つかさ「えっ！？何で!？」

ハンターと鉢合わせになった。

つかさ「いやあああああ!!!」

ハンターの走り方に恐怖する普通の女子高生。

ポンツ

つかさ「あつづううう・・・怖いよ・・・」

ハンターに恐怖してしまい、あまり走れなかった様だ。

延長時間9分17秒 終つかさ確保 残り2人 らき すたチーム
全滅

つかさ「ハンター怖かった・・・」

プルルルル!プルルルル!

幸村「『終つかさ確保、残り2人』」

なのは「残り2人!遂にここまで来た・・・」

こなた「つかさ・・・」

かがみ「つかさ・・・良くやったと思うわよ、延長戦まで逃げれるなんて思わなかったから」

霊夢「さて、とうとう2人になっちゃったわね」

マリオ「真田幸村が高町なのはのどっちかが」

ランサー「チームに賞金を持ち帰れるっつー訳か」

残る逃走者は真田幸村と高町なのはの2人のみとなった。

賞金を獲得出来るのはどちらなのか！

延長戦！残り3人！（後書き）

延長戦も残ったのは2人！

次回で延長戦終了します！

延長戦終了！しかし・・・(前書き)

漸く延長戦終了です！

延長戦終了！しかし・・・

28人居た逃走者も、残っているのは僅か2人となった。

2人のどちらかが賞金144万円（1人辺り36万円）を獲得できる。

果たして賞金を獲得できるのは・・・。

はやて「複雑やな」

ルイージ「何が複雑なんだい？」

はやて「もしフェイトちゃんかなのはちゃんを通報したら、私らは賞金獲得出来なくなるけど、幸村君を通報したら鼻屑目で見られるのが・・・」

魔理沙「ああ・・・確かに、鼻屑されそうだな」

マリオ「通報されずにハンターに頼るしか無いな」

残る逃走者は・・・。

幸村「必ず逃走成功し甘味を大量に食べるでござる！」

武田信玄に忠実な武将

戦国BASARA、甲斐の誇る若き虎『真田幸村』

なのは「ハンターが居るよ……でも逃げ切れるかな……」

機動六課最強の魔導師

リリカルなのは、エースオブエース『高町なのは』

この2人のどちらかが賞金を獲得できる。

しかしエリアには10体のハンター、更にハンター役として通報役になっているフェイトにも注意したい。

だが、2人はフェイトが通報役だということは知らない。

幸村「ぬう……ハンターが居るでござる……向こうにも居るでござる……」

エリアには10体のハンター、見つかったら、逃げる術は殆んど無

い。

フェイト「誰か居た！」

更に通報役のフェイトが幸村を見つけた。

しかし、フェイトはふと考えた。

フェイト「もう1人の方にも会ってから通報した方が面白そう」

そう言ったフェイトはもう1人の逃走者を見つけ出すため、移動を始めた。

通報役のフェイトに気付かずにハンターだと思った幸村は……。

幸村「助かったでござる……」

命拾いだっただようだ……。

なのは「移動した方が良いのかな……隠れた方が良いのかな……」

「

移動をするのか悩んでいる高町なのは、しかし近くに居るのは……。

フェイト「ふう……駆け足で走ったけど……何処に居るんだろ
う」

通報役のフェイトだ……。

なのは「向こうにハンター……あっちにもハンター……逃げ場
がないよ……」

そして……。

なのは「見つかった!」

フェイト「なのは!?!」

通報役に見つかったなのは、そしてフェイトはワンテンポ遅れて、
携帯を取り出す。

フェイト「通報役のフェイトです、ジェットコースターの近くに逃
走者が2人居ます」

通報役の通報を受けたハンターが幸村となのはの確保へと向かう。

なのは「はあ……はあ……大丈夫かな……」

幸村「む！ハンターが……」

2人に迫る10体のハンター！

ハンター「！」

幸村「なっ！見つかってしまった！」

なのは「何で場所が分かるの!？」

2人がハンターに見つかった！

どちらかが確保された瞬間、賞金は最後まで残った者のみに与えられる。

なのは「そんな！」

幸村「しまった！」

2人は懸命にハンターから逃げる。

果たして、逃走成功するのは、甲斐の若き虎か六課の最強魔導師か！

幸村「まだ諦めぬ！」

なのは「諦めるわけにはいかない！」

もはや2人にあるのは体力と根性だけだ。

そして……。

幸村「ぬっ！」

なのは「あっ！」

ポンッ

確保されたのは……。

なのは「はあ……はあ……悔しい……捕まっただ」

高町なのはだ……。

延長時間 1 分 6 秒 1 7 秒 高町なのは確保 リリカルなのはチーム全滅

幸村「はあ……はあ……ハンターが追いかけて来ないでござる……。

プルルルル！プルルルル！

マリオ「来たぞ！」

アリス「これでどっちかが確保されたか分かるのね」

小十郎「さて……どっちだ」

マリオ「じゃあ読むぞ……」通報役の通報により……」

みゆき「フェイトさんはどっちを通報したんでしょう……」

マリオ「あつ！そっちを通報したか……」

牢獄の逃走者達は息を飲む……。

マリオ「『高町なのは確保!』」

はやて「なんやって!？」

こなた「と言うことは……」

マリオ「『これにより、戦国BASARAチーム、真田幸村が賞金144万円獲得!』」

佐助「旦那~~~~!!!!」

猿飛佐助、感激の涙を流す。

幸村「うおおおお!!!!やりましたぞ!!!!おやかたさまああ!!!!」

戦国BASARAチーム 真田幸村 逃走成功 144万円獲得

なのは「やられた〜・・・一体誰が通報役・・・」

プルルルル！プルルルル！

すると高町なのはにメールが届く。

なのは「えっ？私にメールが来た『因みに通報役となったのは、フ
イト・T・ハラオウンだ』・・・フイトちゃ〜ん・・・」

頂垂れるなのは、そして・・・。

幸村「うおおおお！！！！某はこの逃走中で天下統一致しましたぞお
おお！！！！」

歓喜の大声を上げる幸村。

しかし、この逃走中はまだ終わっていないかったのだ！

プルルルル！プルルルル！

そこに1通のメールが・・・。

幸村「むっ！メールでござる！しかし、何故メールが・・・」

恐る恐る幸村はそのメールを読む。

幸村「『真田幸村、逃走成功おめでとう、しかし・・・まだまだゲームは終わっていない！』なっ！」

政宗「ゲームは終わってないってどういう意味だ!？」

マリオ「待て！まだ続きがある！『これより幸村にはエクストラステージに参加する権利を与える』」

その内容は・・・。

マリオ「『エクストラステージは更に30分間逃げてもらう、30分間逃げ切れれば、56万円上積みし、賞金200万円を獲得する事が出来る！』」

政宗「マジかよ!！」

マリオ「『真田幸村がエクストラステージに参加する事を承諾すれば、伊達政宗、片倉小十郎、猿飛佐助の3人を釈放され、4人で30分間逃げてもらう』」

佐助「ホントか!？」

マリオ「『1人でも逃げ切れれば賞金が200万円になる』」

果たして・・・真田幸村の答えは・・・。

幸村「30分間でござるな！」

プルルルル！プルルルル！

幸村「真田源次郎幸村でござる！承諾するでござる！」

プルルルルル！プルルルルル！

マリオ「メールだ・・・幸村が承諾したぞ！」

佐助「ホントか!？」

小十郎「と言う事は・・・」

マリオ「政宗と小十郎、それから佐助の3人が釈放される！」

牢獄から3人が釈放された。

そして5分後……。

政宗「真田幸村に感謝しねえとな……」

小十郎「真田がここまでやるとはな……」

佐助「旦那〜助かるよ〜」

そして、牢獄は……。

フェイト「なのは！ゴメン！私が選ばれちゃったから……」

なのは「私は気にしてないよ、だって通報役だったから……」

魔理沙「まあ、幸村のチームが賞金を獲得出来るのか……見てみようじゃないか」

戦国BASARAチームのエクストラゲームの30分間が始まる！

5！

4！

3！

2！

1！

エクストラゲーム、スタート

政宗「行くぜ・・・必ず逃げ切ってやる・・・」

小十郎「さて・・・どうする?」

佐助「逃げ切らないと、忍失格だし・・・」

幸村「逃げ切るでござる!」

戦国BASARAチームは賞金200万円を獲得出来るのか!

延長戦終了！しかし・・・（後書き）

まだまだゲームは続きます、賞金200万円を獲得出来るのか・・・

EXステージ！ VS 通報部隊（前書き）

久しぶりに更新！

EXステージ！ VS 通報部隊

真田幸村が見事逃走成功を果たし、144万円を獲得出来た。

しかし、まだゲームは終わっていないかった。

それはエクストラステージでの逃走。

30分間逃げ切れれば賞金が200万円になる。

戦国BASARAチームは1人でも逃げ切れれば200万円を獲得出来る。

果たして200万円を獲得出来るのか！

政宗「FU〜この緊張感をまた味わうとはな・・・」

エリアには10体のハンター、1人でも逃げ切れれば200万円、全員確保されれば0。

幸村「むっ！」

延長戦を制し、エクストラステージでも逃走成功を狙う、真田幸村。

幸村「ここから動けぬでござる・・・」

ハンターが居て、身動きが取れない。

小十郎「ちつ・・・向こうにもハンターが居るのか・・・」

佐助「居るよ居るよハンター達が・・・これは相当覚悟しないとヤバイな・・・」

200万円が重く降りかかっている・・・。

なのは「幸村君達には賞金を獲得して欲しいところだね」

織姫「そうだね、賞金の使い道は何だろうね？」

こなた「幸村は絶対に甘いものだね、始まる前に聞いてみたら『甘味を沢山食べるでござる！』って言ったよ」

こなた以外「ああ・・・」

霊夢「まあ、幸村だから仕方がないわね」

エクストラステージで30分間、1人でも逃げ切ることが出来れば200万円を獲得、しかし4人捕まれば賞金は0……。

政宗「ハンターか……何体居やがるんだ……」

ハンターは10体だ……。

フェイト「もうすぐで10分経つけどまだ誰も捕まってるないね」

アリス「そうね、それほど逃げてることじゃないかしら？」

その時……。

プルルルル！プルルルル！

幸村「メールでござる！」

政宗「『エクストラステージが始まって10分が経過した』もうそんなに時間が経ったのか」

佐助「『これよりハンターが4体消滅し6体でエクストラステージを行ってもらおう』おっ、これはラッキーだね」

小十郎「続きがあるな『4体の変わりに牢獄の逃走者が通報部隊となってもらおう』ハンターの変わりか」

フエイト「しかし通報部隊も逃走者同様、ハンターに確保されれば失格となる」通報する方もリスクがあるんだ」

ランサー「どっちにしろ、ハンターには気を付けろっつー事か」

牢獄の逃走者に通報部隊を投入する通達だった。

24人の名前が書かれているくじ引きを引き、書かれた4人が通報部隊となる。

通報部隊が通報し確保していき、全員確保出来れば、戦国BASARAチーム以外のチームに賞金5万円が贈られる。

公正なくじ引きを引いた結果、通報部隊となったのは、マリオ、アリス・マーガトロイド、朽木ルキア、柊かがみの4人となった。

アリス「やるしかないわね」

ルキア「うむ、さあ行くぞ！」

かがみ「え！？ちょっと待ってよ！」

マリオ「先々行くなよ！ルキア！」

この先、大丈夫なのだろうか。

政宗「誰が通報部隊なのか知らされないのか？」

佐助「誰が通報部隊なのかな？」

戦国BASARAチームは誰が通報部隊か知らされていない。

ハンターが6体となり、若干動きやすくなったが通報部隊が戦国BASARAチームを通報すべく、追い詰める。

幸村「あれが通報部隊でござるか？あれは・・・ルキア殿でござる！」

通報部隊、朽木ルキアを見つけた真田幸村、直ぐ様距離を離す。

ルキア「見つからないな・・・」

佐助「立場からすると俺様達が一番ヤバイ状況じゃないか？隠れた方が良いのかな・・・」

辺りを伺いながら移動をしている猿飛佐助。

しかし通報部隊が猿飛佐助を捉えた・・・。

アリス「あれは佐助ね、通報して忍の面目丸つぶれにしたいわね・・・」

アリス・マーガトロイドだ・・・。

アリスは携帯を取り出す。

アリス「猿飛佐助、スタートレイン前に居ます」

アリスの通報を受けたハンターが猿飛佐助の確保へと動く。

佐助「向こうにハンターが来てるな・・・ここから離れた方が良さそうだな」

しかしハンターは猿飛佐助を捉えていた。

ハンター「!!」

見つかった・・・。

佐助「え！？嘘だろおおおお!!!!」

現在逃走者は3人、通報部隊は4人となっている。

果たして、どちらが賞金を獲得出来るのか！

EXステージ！ 通報に気を付ける！（前書き）

もう少して完結です！

EXステージ！ 通報に気を付ける！

ハンター6体と通報部隊4人に対し、戦国BASARAチームは残り3人となっている。

アリス・マーガトロイドの通報により、猿飛佐助が確保された。

果たして、戦国BASARAチームは賞金200万円を獲得出来るのか。

かがみ

「これだと何処に誰が居るか分からないわよ……」

通報部隊の柊かがみの近くに……。

政宗

「ah……誰かが居るぞ……」

伊達政宗だ……。

政宗

「今の立場を考えると、俺達のチームが一番弱い立場だな……通報部隊にもハンターにも気を付けねえと……」

いつになく慎重の奥州筆頭。

幸村

「こじこじに隠れるでござる！」

現在、唯一確保されていない、甲斐の若き虎。

幸村

「むっ！」

ハンター

「・・・」

その近くにハンター・・・。

幸村

「・・・」

息を潜める真田。

ハンター

「・・・」

上手くやり過ぎたようだ。

幸村

「ふう・・・何処も危険でござるな」

ルキア

「それにしても、誰も居ないな」

逃走者を探す朽木。

ハンター

「・・・」

その近くに黒い影・・・。

スタッフ

「通報したい人って居ますか？」

ルキア

「そうだな、真田を通報したい所だな、あの者はまだ確保された事が無かったからな。私が通報したい・・・って！」

ハンター
「！」

ポンツ

EXステージ残り時間1分23秒 通報部隊朽木ルキア 確保
通報部隊残り3人

ルキア

「いきなり現れたぞ！？何なんだ一体！」

鉢合わせだ……。

プルルルル！プルルルル！

小十郎

「『通報部隊1人確保 通報部隊は残り3人』一先ずは楽になりそ
うだ」

マリオ

「『通報部隊朽木ルキア確保』ルキア、何もしてないのに捕まっ
てるし！」

かがみ

「ハンター6体なのよね？これは・・・キツイわ」

政宗

「身を潜むのは癪だが・・・今は耐えるしかねえか」

幸村

「まだ半分残っているでござる」

EXステージを約15分が経過。

現在、戦国BASARAチームは伊達、真田、片倉の3人。

この内1人でも残れば賞金200万円。全滅すれば0。

アリス

「まだまだ通報するわよ」

既に猿飛佐助を通報したアリス。

スタッフ

「結構燃えていますね」

アリス

「私あまりゲームに参加出来なかったもの・・・憂さ晴らしに丁度

良いわ」

ゲームにあまり参加できなかった鬱憤を晴らすようだ。

政宗

「通報部隊はここにも来るのか？」

隠れている奥州筆頭の近くに……。

マリオ

「何処に居るんだ？」

通報部隊マリオだ……。

政宗

「残り……13分30秒か長えな」

政宗は通報部隊に気付いていない。

マリオ

「あれは……居た！政宗だ！」

政宗が通報部隊マリオに見つかってしまった！

直ぐ様マリオが通報する！

マリオ

「もしもし、政宗が観覧車の近くに居ます」

マリオの通報を受けたハンターが政宗の確保へと向かう。

マリオ

「さて・・・ここは早く逃げるか」

政宗

「uh・・・何も起こらねえな・・・これはいけるな！」

ハンター

「！」

通報を受けたハンターに見つかった。

政宗

「まだ見つかって・・・やがる！マジか！」

懸命に逃げる政宗。

しかし……。

ハンター

「！」

挟み撃ちだ……。

政宗

「NOOOOOOOOO!!!」

ポンッ

EXステージ残り時間1分33秒 伊達政宗 確保 残り2人

政宗

「マジか？彼奴は絶好の隠れ場所だったんだが……通報か!？」

ブルルルル！ブルルルル！

小十郎

「『通報部隊の通報により伊達政宗確保』政宗様……！」

幸村

「政宗殿……！」

フェイト

「『マリオの通報により伊達政宗確保！』」

ルイージ

「兄さん！」

霊夢

「ミスターニンテンドーもお金にがめついのかしらね」

魔理沙

「それはお前もだろう！」

一護

「それで残ってるの誰だ？」

なのは

「えつと……幸村君と小十郎さんだね」

ランサー

「幸村だっけか？良く逃げてるな」

こなた

「まだ一度も確保されてないんだよ？」

佐助

「流石は旦那だ！」

幸村

「もう少しここに居た方が良いでござるな……」

かがみ

「見つからないなあ」

逃走者を探すかがみに……。

ハンター

「……」

ハンター……。

かがみ

「向こうに居るのかしら……まだ通報してない……あっ！」

ハンター

「！」

見つかった……。

かがみ

「はあ！はあ！速い！もうダメ！」

ポンッ

EXステージ残り時間 1分28秒 通報部隊柁かがみ 確保 通
報部隊残り2人

かがみ

「はあ・・・はあ・・・結局、何もしてない！」

ブルルルル！ブルルルル！

マリオ

「『通報部隊柁かがみ確保』 通報部隊も厳しくなったな・・・」

アリス

「通報部隊で残ってるのは私とマリオか・・・」

幸村

「通報部隊が1人になれば行動しても良さそうだな・・・」

小十郎

「真田は・・・大丈夫だろう、アイツはまだ確保されてねえからな・・・後11分か」

EXステージ終了まで残り11分。

果たして戦国BASARAチームは賞金獲得出来るのか！

EXステージ！ 遂に・・・（前書き）

EXステージが佳境に入ってきました！

EXステージ！ 遂に・・・

EXステージ終了まで残り11分。

戦国BASARAチームで残っているのは真田幸村と片倉小十郎の2人。

そして通報部隊も残っているのはマリオとアリス・マーガトロイドの2人。

戦国BASARAチームが1人でも残れば賞金200万円が獲得出来る。

通報部隊が全員確保される前に戦国BASARAチームが確保されれば6チームに賞金5万円を贈られる。

果たして、戦国BASARAチームは賞金獲得出来るのか！

小十郎

「政宗様・・・貴方の分も私が必ず逃げ切って見せます」

幸村

「後10分でござるな・・・時間が長く感じる・・・むっ！」

ハンター

「・・・」

幸村がいち早くハンターを見つけた。

幸村

「ここを離れた方が良いな・・・危険でござる」

ハンターとの距離を放す。

そこに居たのは・・・。

アリス

「見つからないわね・・・何処に居るのかしら」

アリスだ・・・。

幸村との距離は凡そ30メートル。

幸村

「ハンターは・・・居ない・・・」

アリス

「居た！幸村だ！」

アリスが幸村を目撃！

直ぐ様、アリスは幸村を通報する。

アリス

「真田幸村、ジェットコースター付近に居ます」

幸村

「むっ……あれは！」

幸村もアリスを目撃し、一目散に逃げる。

しかし、既に通報を受けたハンターが幸村の確保へと動く！

幸村

「はあ……はあ……」

ハンター

「！」

幸村

「ぬわあああ！！！！」

見つかった……！！

幸村

「まだ諦めぬ！某は・・・なんとお！？」

ハンター

「！」

目の前にもハンター・・・

幸村

「うおおあああ！？」

ポンッ

EXステージ残り時間8分25秒 真田幸村 確保 残り1人

幸村

「某は・・・まだ未熟でござるう・・・」

逃走時間述べ、157分52秒、真田幸村、遂に確保。

プルルルル！プルルルル！

マリオ

「『アリス・マーガトロイドの通報により真田幸村確保』これはデカイ！幸村確保はデカイぞ」

魔理沙

「幸村の確保は大ダメージだな」

佐助

「旦那……」

政宗

「小十郎！絶対に逃げ切れ！」

これで残るは……。

小十郎

「俺だけか……」

竜の右目、片倉小十郎ただ1人！

残り時間は8分を切った。

このまま片倉が逃げ切れれば賞金が200万円になる！

しかし確保されれば賞金は全て没収となる。

賞金獲得の夢は片倉小十郎に託された！

アリス

「このまま行けば・・・」

マリオ

「残り1人・・・」

徐々に逃走者を追い詰める通報部隊。

エリアには6体のハンター、逃走者も通報部隊もハンターを警戒しなければならぬ。

マリオ

「見つからない・・・まあ残り1人だからな」

逃走者を探すマリオ。

その近くに・・・。

ハンター

「・・・」

ハンター・・・。

マリオ

「向こうを見てみるか……」

ハンター

「……」

更にもう1体……。

マリオ

「でも幸村を確保したのはデカイと思うな、結構逃げたし……
ってハンターか！」

ハンター

「！」

見つかった……。

マリオ

「速い！うわ！此方もかよ！」

挟まれた……。

ポンッ

EXステージ残り時間6分4秒 通報部隊マリオ 確保 通報部隊
残り1人

マリオ

「2体来てたのか？マジか・・・」

プルルルル！プルルルル！

アリス

「『通報部隊マリオ確保 残る通報部隊は1人』 えっ！？通報部隊
で残ってるの私だけ？」

セイバー

「1対1ですね」

はやて

「これは面白い展開や！」

かがみ

「そろそろ終わりが近づいたわね」

遂に逃走者と通報部隊が1人ずつとなった！

アリス

「残り時間は・・・」

小十郎

「後5分か・・・」

残り時間は5分！果たして戦国BASARAチームの運命は！

EXステージ！ 遂に・・・（後書き）

次回遂に完結！戦国BASARAチームは賞金を獲得出来るのか！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3033r/>

run for money 逃走中 団体戦

2011年11月21日23時50分発行